FUJIFILM

BL00836-100 JA

DIGITAL CAMERA

FINEPIX Z33WP

使用説明書／ソフトウェア取扱ガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス Z33WP
および付属のソフトウェアの使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/

はじめに

カメラをお使いになる前に

次の手順にしたがって
準備してください

1

箱の中の付属品が
すべてそろっているかを
確認してください（右記）。

2

カメラを安全に使用されるために、
お取り扱いに関する別紙を
お読みください。

3

本書をよくお読みの上、
カメラをお使いください。

■ 付属品一覧

充電式バッテリー
NP-45（1 個）

バッテリーチャージャー
BC-45W（1 式）

ストラップ（1 本）

Software for FinePix CD-ROM（1 枚）
**ご使用の前にソフトウェア許諾書を
必ずお読みください（別紙）。**

専用 USB
ケーブル（1 本）

取扱説明書一式
（取扱説明書の形態は
仕向け国によって異なります。）

ストラップの取り付け方
右のようにしてストラップを
取り付けてください。

❶
❷

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

➡ こんな時に使いたい機能一覧 → P.4

カメラを使ってやりたいことがあっても、どの機能を使えばいいか分からないときにご覧ください。

➡ 目次 → P.9

カメラの主な機能が使用説明書のどこに記載されているかを知りたいときにご覧ください。目次を見ると、使用説明書全体の流れがつかめます。

➡ 索引 → P.119

用語や項目名をもとに、詳しい説明の記載ページを探せます。索引は五十音順になっています。

➡ トラブルシューティング /FAQ → P.99

カメラの動作がおかしいとき、思い通りの写真が撮れないときなどの原因と対処法を紹介しています。

➡ 警告表示 → P.106

モニターに表示される警告の意味と原因を紹介しています。

➡ 用語集 → P.111

カメラに関する専門用語を解説しています。

使用可能なメモリーカードについて

このカメラでは、市販の SD メモリーカード、または SDHC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。

本書で使われている記号について

注意：カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶モニターのイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

カメラの設定、操作について

撮影について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
同じメモリーカードであと何コマ撮影できるか知りたい。	撮影可能枚数	P.113
カメラに任せて簡単に撮影したい。	（オート）で撮影する	P.24
人物の顔をきれいに撮りたい。	顔キレイナビで撮影する	P.29
撮影シーンの認識から設定までカメラに任せて撮影したい。	SR AUTO シーンぴったりナビで撮影する	P.40
状況に合ったモードを選んで撮影したい。	シーンに適したモードで撮影する	P.39
被写体に近づいて撮影（近距離撮影）したい。	近距離撮影する	P.33
暗い場所でもフラッシュを使わずに撮影したい。	フラッシュ撮影する	P.34
人物の赤目現象が起きないように撮影したい。		
明るい場所でも、フラッシュを必ず光らせたい。		
集合写真に自分も写りたい。	セルフタイマーを使って撮影する	P.36
画面の中央にいない被写体にピントを合わせたい。	AF/AE ロック撮影する	P.31
動画を撮影したい。	動画を撮影する	P.50
大事な瞬間だけをつなげた動画を撮影したい。	動画をつなぎ撮り撮影する	P.51

再生について

こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
撮影した画像をすぐ確認したい。	1コマ再生する	P.44
画像のタイプ別に再生したい。	再生画像選択	P.78
簡単操作で画像を1コマ消去したい。	消去ボタンで画像を消去する	P.28
画像を1コマまたはすべて消去したい。	画像を選んで消去する	P.48
画像を拡大して見たい。	再生ズーム	P.45
複数の画像を一度に見たい。	マルチ再生する	P.46
特定の日に撮影した画像だけ見たい。	日付再生する	P.47
大事な画像を間違えて消去しないように保護したい。	プロテクト	P.83
液晶モニターにアイコンが表示されないようにしたい。	Disp/Back ボタン	P.44
画像のスライドショー形式で再生したい。	スライドショー	P.81
画像に音声を入れたい。	ボイスメモ	P.86
画像の必要な部分だけを切り抜きたい。	トリミング	P.84
内蔵メモリー内の画像をメモリーカードにコピーしたい。	画像コピー	P.85
撮影した画像を加工したい。	画像加工について	P.79
画像をテレビで見たい。	画像をテレビで見る	P.54

防水・防塵機能についてのご注意

防水 / 防塵機能について

- このカメラは JIS 防水保護等級 8 級、JIS 防塵保護等級 6 級 (IP68) 相当の防水・防塵機能を備えています。
- このカメラの付属品には防水機能はありません。

使用前の注意 / ご確認事項

- このカメラは、レンズ正面に保護ガラスを使用しています。保護ガラスが汚れていると、撮影した画像に影響を与えますので、保護ガラスは常にきれいな状態を保つようにしてください。
- 必ずバッテリーカバーが確実にロックされていることを確認してください。カメラの内部に、水・泥・砂が入ると故障の原因になります。
- 水辺（海上・湖上・海辺・湖畔等）でのバッテリーカバーの開け閉め、濡れた手での開け閉めはしないでください。
- バッテリー、メモリーカードの交換は、カメラが完全に乾いた状態で行ってください。
- このカメラは水中で沈みます。必ずストラップを取り付け、使用する際には腕に巻いて落ちないように注意してください。

使用中の注意 / ご確認事項

- 水深３ m を超えては使用しないでください。
- 水中で 120 分以上使用しないでください。
- 水中では、バッテリーカバーの開け閉めはしないでください。
- 温泉 / 温水では使用できません。
- 水中に勢いよく飛び込むなど、カメラに衝撃を与えないでください。
- カメラを砂の上に置いたままにすると、カメラの使用温度を超えたり、スピーカーやマイクに砂が詰まったりすることがあります。
- 日焼け止めやサンオイルなどが付着すると、カメラの表面が変色することがあります。万一付着したときは、ぬるま湯で洗い流してください。
- カメラに強い振動、圧力、衝撃が加わると防水機能が損なわれる原因になります。もし強い振動・圧力・衝撃が加わった場合は、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。

使用後のご注意 / ご確認事項

- 防水パッキンやパッキンの当たる面にゴミや砂が付いたときは、よく拭き取ってください。そのままにすると、パッキンやパッキンの当たる面に傷がつきます。パッキンの傷やへこみは防水効果を損ないます。
- 砂や泥、ほこりなどがカメラに付着するような場所で使用したときなどは水道水を少し流しながら水洗いするか、容器に真水をため（2 ～ 3 分）つけ置き洗いしてください。
- 石けん水・中性洗剤・アルコール・薬品などでの洗浄は、防水効果を損ないますのでしないでください。
- 使用後は、カメラについた水滴や汚れを乾いた布できれいに拭き取り、バッテリーカバーをしっかり閉めて、真水に 10 分程度入れてください。その後、十分に乾燥させてください。

保管・お手入れについて

- 高温（40℃以上）や低温（0℃以下）の場所に放置しないでください。
- 防水性能を維持させるために、1 年に 1 度防水パッキンの交換をおすすめします（防水パッキンの交換は有料です）。詳しくは、お買い上げ店または弊社サービスステーションにご相談ください。

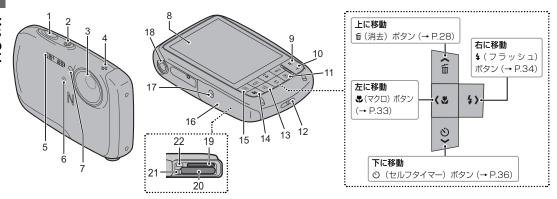
目次

カメラで使えるアクセサリー 97

困ったときは 99

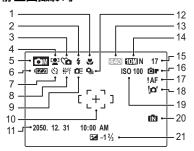
資料 111

各部の名称

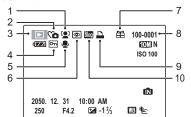
使い方や説明については、各項目の右側に記載されているページをご覧ください。

1	シャッターボタン	P.27
2	**ON/OFF**(電源)ボタン	P.21
3	レンズ	
4	スピーカー	P.87
5	フラッシュ	P.34
6	マイク	P.86
7	イルミネーション	P.93
	セルフタイマーランプ	P.38
8	液晶モニター(LCD)	P.13
9	**W**(広角ズーム)ボタン	P.25、46
10	**T**(望遠ズーム)ボタン	P.25、45
11	▶(再生)ボタン	P.44
12	ストラップ取り付け部	P.2
13	**MENU**(メニュー)/**OK** ボタン	P.22
14	(動画撮影)ボタン	P.50
15	**DISP**(表示)/**BACK**(戻る)ボタン	P.26、44
	(マナーモード)ボタン	P.35
16	バッテリーカバー	P.16
17	ロックレバー	P.16
18	三脚用ねじ穴	
19	メモリーカードスロット	P.18
20	バッテリー挿入部	P.16
21	バッテリー取り外しつまみ	P.16
22	マルチコネクターアダプター接続端子	P.54

液晶モニターの表示

撮影時および再生時には、モニターに次の情報が表示されます。

■ 静止画撮影時

1	マクロ(近距離)..............P.33	12	連写..................................P.74
2	フラッシュ.........................P.34	13	動画ピクセル.....................P.50
3	マナーモード.....................P.35	14	静止画ピクセル.................P.72
4	顔キレイナビ.....................P.29	15	撮影可能枚数...................P.113
5	撮影モード.........................P.39	16	FINEPIX カラー...............P.73
6	バッテリー残量表示.........P.24	17	AF 警告.............................P.26
7	セルフタイマー.................P.36	18	手ブレ警告........................P.34
8	ホワイトバランス.............P.72	19	感度...................................P.73
9	クイックショット...............P.74	20	内蔵メモリー*.........P.85、94
10	AF フレーム.......................P.26	21	露出補正............................P.71
11	日付・時刻.........................P.22		

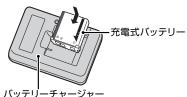
* メモリーカードがカメラに入っていないため、撮影した画像がカメラの内蔵メモリーに記録されることを示します。

■ 再生時

1	顔キレイナビ.....................P.45	6	赤目補正............................P.29
2	マナーモード.....................P.35	7	プレゼント.........................P.44
3	再生モード.........................P.44	8	コマ NO.............................P.92
4	プロテクト.........................P.83	9	プリント予約......................P.67
5	ボイスメモ.........................P.86	10	ブログモード.....................P.79

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前に付属のバッテリーチャージャーでバッテリーを充電してください。

1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付けます。

表示に従って正しくセットしてください。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

充電ランプが点灯して充電を開始します。

充電ランプの表示

充電ランプの表示により、バッテリーの状態を確認できます。

充電ランプ	バッテリーの状態	対処
消灯	バッテリー未装着	充電するバッテリーを装着してください
	フル充電（充電終了）	バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください
点灯	充電中	—
点滅	バッテリー異常	電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り外してください

3 充電が終了すると、充電ランプは消灯します。

バッテリーについてのご注意

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意はお取り扱いに関する別紙をご覧ください。
- 必ず専用の充電式バッテリー NP-45 をお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前（1 ～ 2 日前）には、バッテリーを充電してください。

バッテリーの寿命について

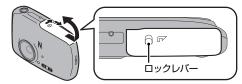
使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーチャージャーについてのご注意

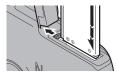
- バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。

バッテリーを入れる

バッテリーを充電したら、カメラにバッテリーを入れます。

1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、ロックレバーを矢印の方向にスライドさせながらバッテリーカバーを図のように開けます。

2 バッテリーを入れます。

- 金色の端子を下にして、カメラのバッテリー取り外しつまみ（オレンジ色）にバッテリーのバッテリー指標（オレンジ色）を合わせます。

- バッテリー取り外しつまみをバッテリーの側面で押すようにして、バッテリーを入れます。

- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

バッテリー挿入時のご注意

- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。
- バッテリーの向きを間違えると、カメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーを挿入しても電源が入らない場合は、バッテリーの挿入方向を確かめてください。

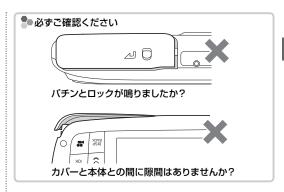
3 バッテリーカバーを閉めます。

注意

- バッテリーカバーが開いているときは、電源の ON/OFF をしないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れる場合があります。
- ロックがパチンと鳴らないとバッテリーカバーはしっかり閉まりません。
- パチンと鳴ってもバッテリーカバーがしっかり閉まっているかを確認してください。
- バッテリーカバーを閉じるとき、ロックがされてなかったり隙間があったりするとカメラ内部に水や砂などが入る原因となります。
- カメラの前後方向に無理な力を加えながら閉じないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると防水効果を損ないます。

必ずご確認ください

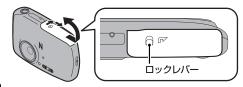
パチンとロックが鳴りましたか？

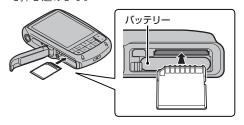
カバーと本体との間に隙間はありませんか？

バッテリーを取り出すときは

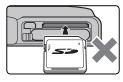
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

メモリーカードを入れる

撮影した画像は、内蔵メモリーまたは市販の SD メモリーカード /SDHC メモリーカードのどちらかに記録されます。

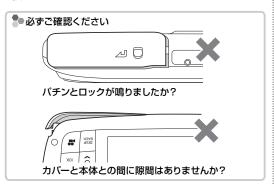
1 カメラの電源がオフになっていることを確認して、ロックレバーを矢印の方向にスライドさせながらバッテリーカバーを図のように開けます。

2 メモリーカードを入れます。

図のような方向で、メモリーカードを確実に奥まで挿し込みます。

メモリーカード挿入時のご注意

- メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにメモリーカードの挿入方向を確認してください。

3 バッテリーカバーを閉めます。

注意

- バッテリーカバーが開いているときは、電源の ON/OFF をしないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れる場合があります。
- ロックがパチンと鳴らないとバッテリーカバーはしっかり閉まりません。
- パチンと鳴ってもバッテリーカバーがしっかり閉まっているかを確認してください。
- バッテリーカバーを閉じるとき、ロックがされてなかったり隙間があったりするとカメラ内部に水や砂などが入る原因となります。
- カメラの前後方向に無理な力を加えながら閉じないでください。防水パッキンが正しい位置から外れると防水効果を損ないます。

必ずご確認ください

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源がオフになっていることを確認して、カードを指で押し込み、ゆっくり指を戻すと、ロックが外れて取り出せます。

注意

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

■ 使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、SanDisk 社製の SD/SDHC メモリーカードの使用をおすすめします。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フイルムのホームページに掲載しています。詳しくは http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/datamedia/index.html をご覧ください。その他のメモリーカードについては、動作保証しておりません。また、xD- ピクチャーカード、マルチメディアカードには対応していません。

撮影の準備

メモリーカードについてのご注意

- SD/SDHC メモリーカードをカメラに入れるときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。

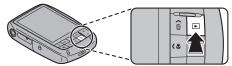
- 未使用の SD/SDHC メモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用した SD/SDHC メモリーカードは、必ずカメラでフォーマット (→ 94 ページ) してからご使用ください。
- miniSD アダプターや microSD アダプターの中には、アダプター裏面に金属端子が露出しているものがあります。このようなアダプターをお使いになると、異常接触となる恐れがあり、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

  また、外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フイルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- SD メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラを修理すると、内蔵メモリーのデータが消えたり、壊れたりすることがあります。また、修理技術者が、修理中に内蔵メモリーの画像を見ることがあります。
- カメラでメモリーカードや内蔵メモリーをフォーマットすると、画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリー内の画像の削除は、必ずカメラで行ってください。画像の編集や名前変更をするときは、カメラのオリジナル画像を使わないでください。パソコンなどに画像をコピーし、コピーした画像で編集や名前変更をしてください。
- SD メモリーカード、内蔵メモリーについてのご注意はお取り扱いに関する別紙をご覧ください。

電源をオンにする / オフにする

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。

再生モードで電源をオンにするには

▶（再生）ボタンを約 1 秒間押すと、再生モードで電源がオンになります。

再生中に ▶(再生) ボタンを押すと電源がオフになります。

メモ：自動電源 OFF

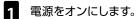
一定時間内に操作が何も行われないときは、自動的にカメラの電源がオフになります。セットアップメニューの**自動電源 OFF**（→ 95 ページ）では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。

注意

- レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。
- ON/OFF ボタンの操作では、電源供給を完全には遮断しません。

使用する言語と日時を設定する

ご購入後初めて電源をオンにしたときは、使用する言語と日時が設定されていません。次の手順で使用する言語を選び、日時を設定します。また、人物の顔を撮影するのに適した設定に切り換えることもできます（パフォーマンス設定）。

1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。

2 使用する言語を選択します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

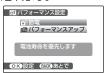
言語が設定され、日時設定画面が表示されます。

4 設定する項目（年、月、日、時、分）を 〈〉 で選択し、︿﹀ で変更します。

5 **年 , 月 , 日**を選択します。

6 **年 , 月 , 日、月 / 日 / 年、日 , 月 , 年**から並び順を選択します。

7 **MENU/OK ボタンを押します。**

日時が設定され、パフォーマンス設定画面が表示されます。

8 **節電を優先するかパフォーマンスを優先するかを選択します。**

節電：消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。

パフォーマンスアップ：顔キレイナビ（→ 29 ページ）が ON になって、人物の顔を撮影するのに適した設定になります。また、**モニター表示**の設定が**なめらか**になります。

9 **MENU/OK ボタンを押します。**

これで設定を終了して、撮影を開始できます。

メモ：カメラの時計

バッテリーを取り外して長期間保管したときも言語設定と日時設定がクリアされ確認画面が表示されます。バッテリーを入れて約 10 時間以上経過していれば、カメラから取り外しても、約 24 時間保持されます。

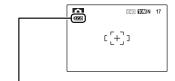
（オート）で撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。ご購入後初めて電源をオンにすると、自動的に（オート）モードになります。他のモードで画像を撮影した後にモードに戻る方法については、39 ページを参照してください。

カメラの電源をオンにする

1 ON/OFF（電源）ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。

2 バッテリー残量を確認します。

バッテリー残量を液晶モニターで確認します。

バッテリー残量

表示	意味
（白点灯）	バッテリーの残量は十分にあります。
（白点灯）	バッテリーの残量は約半分以下です。
（赤点灯）	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
（赤点滅）	バッテリー残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを充電してください。

カメラを構えて、構図を決める

1 カメラを構えます。

- 手ぶれを防ぐため、脇をしめ、カメラを両手でしっかりと持ってください。

- レンズやフラッシュに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。

2 構図を決めます。

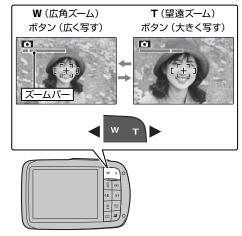
- 被写体の中心を液晶モニターの AF フレームに合わせ、構図を決めます。
- このカメラは光学ズームを装備しています。ズームボタン（**W**/**T** ボタン）を押して、構図を調整します。

注意

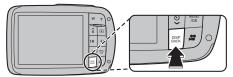
被写体を画面の中央に配置しないときは、必ず AF/AE ロック（→ 31 ページ）を使ってください。AF/AE ロックをしないと、被写体にピントが合わないことがあります。

ズームを使うには

ズームを使うと、被写体の大きさを変えることができます。

- 広い範囲を写したいときは **W** ボタンを、被写体を大きく写したいときは **T** ボタンを押してください。

- セットアップメニューの**デジタルズーム**を使うと、被写体をさらに大きく撮影できます。

フレーミングガイドを使って構図を決める

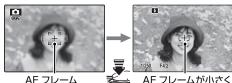
撮影時に **DISP/BACK** ボタンを押すごとに、液晶モニターの表示が下記のように切り替わります。ベストフレーミング（フレーミングガイド）を使うと、縦横にガイド線が表示され、構図を決めやすくなります。

文字表示あり　　文字表示なし

ベストフレーミング

ピントを合わせて撮影する

1 シャッターボタンを半押しして、AF フレーム内の被写体にピントを合わせます。

AF フレーム

半押し

AF フレームが小さくなり、ピントが合います

ピントが合ったとき

ピピッと音が鳴ります。

ピントが合わないとき

AF フレームの色が赤に変わり、**!AF** が液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使ってください (→ 31 ページ)。

チェック

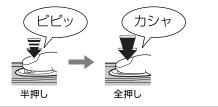
シャッターボタンを半押しすると、レンズ動作音が発生します。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。

写真が撮影されます。

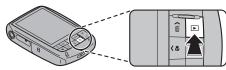
シャッターボタンの半押しと全押しについて

シャッターボタンを軽く押して、そのまま指を動かさないでいることを「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しすると、ピントと明るさが決まります。

指を放さずにさらに深く押し込む（全押しする）と、写真を撮影できます。シャッターボタンを押すときは、カメラが動いて手ぶれが起きないように、静かに押し込んでください。

チェック

暗い場所では、シャッターボタンを全押ししたときに、フラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないようにフラッシュの設定を変更できます（→ 34 ページ）。

撮影した画像を見る

撮影した写真は、液晶モニターで再生できます。大切な写真を撮る前には、試し撮りをして、確認しましょう。

1 ▶（再生）ボタンを押します。

最後に撮影した画像を右のように液晶モニターいっぱいに表示します。

2 ❮または❯を押して、見たい画像を選びます。

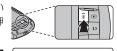
❮：前の画像が表示されます。

❯：次の画像が表示されます。

チェック

シャッターボタンを半押しすると、撮影画面に戻ります。

不要な画像を消去するには

消去したい画像が表示されているときに、🗑（消去）ボタンを押します。

- 確認画面が表示されます。**実行**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 削除するのをやめたい場合は、**やめる**を選んで、**MENU/OK** ボタンを押してください。

メモ：消去

メニュー操作でも画像を消去できます（→ 48 ページ）。

顔キレイナビで撮影する

顔キレイナビを使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。また、赤目（フラッシュ発光によって瞳が赤くなる現象）も補正できます。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2 **顔キレイナビ**を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 顔キレイナビ設定を選びます。

設定	意味
OFF	顔キレイナビと赤目補正のどちらも行いません。
ON ON	顔キレイナビと赤目補正の両方を行います。フラッシュ撮影するときに選びます。
ON OFF	顔キレイナビは行いますが、赤目補正は行いません。

5 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

撮影画面が表示されます。

顔キレイナビを ON にすると、液晶モニターに が表示されます。

6 被写体に合わせて構図を決めます。

人物の顔の上に緑色の枠が表示されます。

緑色の枠

カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。

7 撮影します。

緑色の枠内の顔にピントと明るさを合わせて撮影します。

注意

- 縦位置撮影時も顔を検出できます。
- 顔が検出されない場合（→ 101 ページ）は、シャッターボタンを半押ししたときに液晶モニターの中央にピントが合います。
- 顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
- 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。

顔キレイナビについて

顔キレイナビを使うと、一人旅などでセルフタイマーを使った自分撮りができます（→ 38 ページ）。

顔キレイナビで撮影した画像は、再生時に顔の部分を拡大して表示できます（→ 45 ページ）。

さらに、次のような機能も使えます。

- スライドショー（→ 81 ページ）
- プリント予約（→ 67 ページ）
- トリミング（→ 84 ページ）

AF/AE ロック撮影する

静止画撮影時にシャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが決まります。そのまま半押しを続けて、ピントと明るさを固定することを「AF/AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

1 ピントを合わせたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体にピントが合います。

☛ **チェック**

シャッターをきる前なら、AF/AE ロックは何度でもやり直せます。

3 半押ししたまま構図を変えます。

被写体との距離は変えないでください。

4 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

鏡や車のボディなど光沢のあるもの

高速で移動する被写体

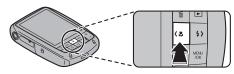
その他のオートフォーカスの苦手な被写体 :

- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

このようなときは、AF/AE ロック機能をお使いください（→ 31 ページ）。

近距離撮影する（マクロ）

被写体に近づいて大きく撮影したいときに使います。

1 ボタンを押してマクロに設定します。

マクロに設定すると、が表示されます。

2 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

ズームボタン（**W**/**T**）を使うと、構図を調整できます（→25 ページ）。

3 撮影します。

マクロを解除するにはもう一度ボタンを押します。カメラの電源をオフにしたときや撮影モードを切り換えたときも、マクロが解除されます。

チェック

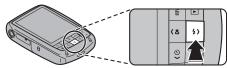
- マクロ撮影時は手ブレしやすいので、三脚の使用をおすすめします。
- マクロ撮影時には、ピントは中央付近に固定されます。

⚡ フラッシュ撮影する（i フラッシュ）

夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。

各撮影モードで使用できるフラッシュの設定については別紙をご参照ください。

1 フラッシュ設定を選びます。

⚡ ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

フラッシュ設定	説明
AUTO（オートフラッシュ、表示なし）	ほとんどの状況に適しています。カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
⚡（強制発光フラッシュ）	逆光で被写体が暗くなっているときに使います。周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
ⓧ（フラッシュ発光禁止）	フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。被写体が暗いときでも、フラッシュを発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。
S⚡（スローシンクロ）	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。 撮影モードで 夜景人物 を選ぶと、シャッタースピードがスローシャッターになります。必ず三脚をご使用ください。

2 構図を決めてピントを合わせます。

チェック

シャッタースピードが遅く、手ぶれしやすい状態では、液晶モニターに 手ぶれ警告 が表示されます。フラッシュを ⓧ 以外にするか、三脚をご使用ください。

3 撮影します。

フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

顔キレイナビが （顔キレイナビ）ON （補正）ON のときのフラッシュ設定について

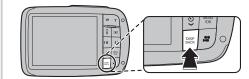
顔キレイナビが （顔キレイナビ）ON （補正）ON のときは、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのため、フラッシュは、（赤目軽減オートフラッシュ）、（赤目軽減 + 強制発光フラッシュ）、（フラッシュ発光禁止）、（赤目軽減 +スローシンクロ）から設定できます。

（赤目軽減オートフラッシュ）は、人物を撮影するのに適しています。暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る「赤目現象」を軽減します。

メモ：i フラッシュとは

このカメラは、被写体の位置とカメラとの距離、明るさなどを瞬時に計算して、最適な発光量と感度を自動的に調整する「i フラッシュ」を搭載しています。薄暗い室内などでも人物の白とびや背景の黒つぶれを防ぎ、目で見たままに美しく撮影できます。

マナーモード

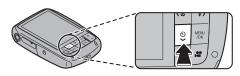
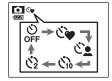
フラッシュ光やシャッター音などを避けたい状況での撮影には「マナーモード」を使います。マナーモードは、**DISP/BACK** ボタンを長押しして設定します。

マナーモードに設定すると、フラッシュが発光禁止になり（撮影モード を除く）、操作音やシャッター音、動画やボイスメモの再生音が OFF になります。セルフタイマーランプやイルミネーションも発光しません。

- マナーモードに設定すると、液晶モニターに が表示されます。
- もう一度 **DISP/BACK** ボタンを長押しすると、マナーモードが解除されます。
- フラッシュ設定や音量（→ 94 ページ）を変更したいときは、まずマナーモードを解除してください。

セルフタイマーを使って撮影する

このカメラは、撮影者を含めた集合写真に適した「恋するタイマー」「みんなでタイマー」「10 秒後撮影」と、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐ「2 秒後撮影」の 4 種類のセルフタイマーを搭載しています。

セルフタイマーの設定

ボタンを押すたびに、設定が切り替わります。

設定されたセルフタイマーが表示されます。

：恋するタイマー
：みんなでタイマー
：10 秒後撮影
：2 秒後撮影

恋するタイマー

二人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

セルフタイマーを **恋するタイマー**に設定します (→ 36 ページ)。

ボタンを押します。押すたびに **ラブ度**の設定が切り換わります。

♥ ： お友達
♥♥ ： 仲良し
♥♥♥ ： ラブ

ラブ度が大きくなるほど、二人の顔を近づけないとカウントダウン（秒読み）が開始されません。

二人の顔を近づけて、表示されているすべての ♥ インジケーターが満たされるとカウントダウン（秒読み）が開始され自動的に撮影されます。

メモ

- **DISP/BACK** ボタンを押すとセルフタイマーが解除されます。
- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。

みんなでタイマー

人数が揃ったときに自動的に撮影されます。

セルフタイマーを **みんなでタイマー**に設定します (→ 36 ページ)。

ボタンを押します。押すたびに **人数**の設定が切り換わります。

設定できる人数は
1 人から 4 人まで
です。

カメラが設定された人数の顔を認識して、表示されているすべての インジケーターが満たされると、カウントダウン（秒読み）が開始され自動的に撮影されます。

メモ

- **DISP/BACK** ボタンを押すとセルフタイマーが解除されます。
- 自分撮りするときは、マクロに設定してください。

10 秒後撮影 /2 秒後撮影

1 セルフタイマーを **10 秒**または **2 秒**に設定します (→ 36 ページ)。

2 構図を決めてピントを合わせます。

3 セルフタイマーを開始します。

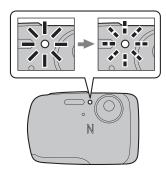
シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。液晶モニターには、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

いろいろな撮影

注意

シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。

「10 秒後撮影」では、カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。「2秒後撮影」では、セルフタイマー開始と同時に点滅します。

カウントダウン終了後、すぐに動かないでください。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影する

セルフタイマー撮影時に顔キレイナビを使うと、事前にピントを合わせなくても、カメラが自動的に人物の顔を検出してピントを合わせます。撮影者を含めた集合写真や自分撮り（セルフポートレート）のときに便利です。

顔キレイナビでセルフタイマー撮影するには、撮影メニューで顔キレイナビをONに設定します(→29ページ)。シャッターボタンを全押しすると、撮影までの間に顔を検出し、シャッターがきれる直前にピントと明るさを合わせます。

シーンに適したモードで撮影する

この撮影モードを切り換えることで、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

撮影モードを設定する

1 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

2 **撮影モード**を選びます。

3 撮影モードの選択画面が表示されます。

4 撮影モードを選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押します。
撮影モードが設定されます。

チェック
各撮影モードで使用できるフラッシュ設定については、別紙をご覧ください。

撮影モードの種類

マニュアル

露出補正（→71 ページ）、**ホワイトバランス**（→72 ページ）、**AF モード**（→76 ページ）などの撮影機能を、撮影者が自由に設定できます。

オート

カメラまかせの簡単操作できれいな写真を撮影できます。ほとんどの状況に適しています。操作の流れについては、「（オート）で撮影する」（→ 24 ページ）をご覧ください。

シーンぴったりナビ

被写体にカメラを向けるだけで、カメラが自動で撮影シーンを認識し、最適な設定にします。
カメラが最適なシーンを認識すると、画面左下にシーンアイコンが表示されます。

人物を認識した場合

内容	シーン	特色
人物		肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。
風景		建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。
夜景		高感度で手ブレを抑え、夜景がきれいに撮れます。
マクロ		近接撮影され、近くの被写体がくっきり撮れます。
逆光 & 人物		逆光でも人物は明るく、背景は白飛びを防ぎます。
夜景 & 人物		暗いところでも人物と背景の明るさを最適にし、ブレも軽減します。

メモ

シーンを認識しなかった場合は、**AUTO** で撮影されます。

チェック

- 顔キレイナビが常に ON になります。
- 常に顔または画面中央付近にピントを合わせ続けます。
- 常にピント合わせを続けるため、次のような現象が起こります。また、バッテリー残量にご注意ください。
  - レンズの駆動音がします。
  - バッテリーの消耗が早くなります。

高感度2枚撮り

フラッシュ非発光 / 発光で連続 2 枚撮影します。逆光での撮影など光の調整が難しい撮影での失敗を防ぎます。

シャッターボタンを押すと、フラッシュを発光させずに目で見たままの雰囲気を活かして 1 枚目を撮影し、その直後にフラッシュを発光させて 2 枚目を撮影します。必ず 2 枚撮影されるので、撮影が終わるまで、カメラを動かさないようにしてください。

チェック

- フラッシュ撮影を禁止している場所では使用しないでください。
- マナーモード (→ 35 ページ) にしていても、フラッシュは発光します。
- メモリーカードまたは内蔵メモリーに 2 枚分以上の空き容量がない場合は撮影できません。
- 連写設定は使えません。

ナチュラルフォト

暗い場面でも、目で見たままの雰囲気を活かした自然な写真になります。室内やフラッシュを使用できない場所での撮影にも適しています。

フラッシュは常に発光禁止になりますが、自動的に高感度になるため、暗い場所でも手ブレや被写体ブレを軽減します。

水中

水中のシーンに適した撮影ができます（動画撮影中も有効です）。

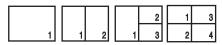
オークション

ネットオークションに出品する品物をいろいろな角度から撮影して掲載したいときに便利です。選んだフレーム数に応じて 1 ～ 4 回撮影し、画像は 03M（640 × 480）で記録されます。

で撮影するには：

1 撮影モードで **オークション**を選びます。

2 フレーム選択画面を表示します。

3 次の４種類からフレームを選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

5 撮影します。

撮影するたびに、液晶画面のフレームの枠が埋まります。**MENU/OK** ボタンを押すと、次の撮影に進みます。枠がすべて埋まるまで撮影します。

6 撮影を完了します。

人物

人物の撮影に適しています。肌の色が自然で、ソフトな印象の写真になります。

風景

昼間の風景撮影に適しています。建物や山などの風景をくっきりと仕上げます。

スポーツ

動いている被写体の撮影に適しています。シャッタースピードは高速になり、 **クイックショット**が自動的に設定されます。

夜景

夕景や夜景の撮影に適しています。自動で高感度になるため、手持ち撮影で発生しやすい手ブレを軽減します。

夜景（三脚）
夜景の撮影に適しています。スローシャッターでの撮影が行われます。手ブレ防止のため三脚のご使用をおすすめします。

夕焼け
夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。

スノー
白く輝く雪景色で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

ビーチ
日差しの強い浜辺で、画像が暗くなるのを防ぎ、明るくくっきりと撮影します。

美術館
美術館など、フラッシュ光やシャッター音を避けた方が良い場所での撮影に使います。フラッシュが発光禁止になり、操作音やシャッター音、セルフタイマーランプ、イルミネーターが自動的に消されます。

チェック
美術館などでは撮影を制限している場合があります。撮影前にご確認ください。

パーティー
室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。薄暗い場所でも雰囲気を活かした自然な写真になります。

花の接写
花に近づいて撮影するときに使用します。花びらの色を鮮やかに撮影できます。
ピントが合う範囲はマクロになり、フラッシュは常に発光禁止になります。

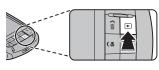
文字の撮影
書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。文字をはっきりと撮影します。
ピントが合う範囲はマクロになります。

ブレ軽減
シャッタースピードを速くすることで、手ブレだけでなく、被写体ブレも軽減できます。

つなぎ撮り
複数の動画をつないで1つの動画ファイルとして保存できます。撮影方法については、51 ページを参照してください。

いろいろな再生

1 コマ再生する

▶ ボタンを押すと、最後に撮影した画像が表示（1 コマ再生）されます。

- 1 つ前の画像を見るには ❮ を押します。次の画像を見るには ❯ を押します。ボタンを押し続けると、早送りします。

液晶モニターの表示切り換え

DISP/BACK ボタンを押すごとに、再生表示モードが切り替わります。

文字表示あり

文字表示なし

日付再生
(→ 47 ページ)

チェック

他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに 🎁 (プレゼントアイコン) が表示されます。

再生ズーム

1 コマ再生時に画像をズーム（拡大）できます。

W(広角ズーム) ボタンを押すと縮小します。

T(望遠ズーム) ボタンを押すと拡大します。

ズームバー

画像の拡大表示中に ▲、▼、◀ または ▶ を押すと、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

チェック

- 最大ズーム倍率は、設定した**静止画ピクセル**（→ 72 ページ）によって変わります。
- **静止画ピクセル**が 03M の画像や Blog ブログ画像、撮影モード で撮影した画像の場合、再生ズームは使えません。

顔キレイナビで撮影した画像の再生について

顔キレイナビ（→ 29 ページ）を使って撮影した写真を再生すると、 が液晶モニターに表示されます。▼ を押すたびに、顔キレイナビで検出した顔のあいだを移動します。また、**W** または **T** ボタンを押すと、現在選択している被写体が拡大または縮小表示されます。

いろいろな再生

マルチ再生する

2 コマ、9 コマ、100 コマの一覧表示にして、画像を比較したり、見たい画像を選ぶことができます。

W を押すたびに表示される画像の数が 2 コマ、9 コマ、100 コマ（マイクロサムネイル）の順に増え、**T** を押すたびに減ります。

W ボタンを押すたびに表示される画像が増えます。

T ボタンを押すたびに表示される画像が減ります。

- **︿**、**﹀**、**〈** または **〉** を押して画像を選びます。
- **MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を 1 コマ表示します。
- 9 コマ再生または 100 コマ再生（マイクロサムネイル）では、**︿** または **﹀** を押してページを切り換えられます。

メモ：2 コマ再生

高感度 2 枚撮りで撮影した画像を比較するときは2コマ再生が便利です。

いろいろな再生

日付ごとに再生する

1 日付再生画面を表示する。

1 コマ再生画面で、下のような画面が表示されるまで、**DISP/BACK** ボタンを繰り返し押します。

1 コマ再生画面での表示画像が選択されます。

2 ︿ または ﹀ を押して、日付を選びます。

3 《 または 》を押して、見たい画像を選びます。

メモ：早送り

- ︿ または ﹀ 長押しで、早送りで日付が変わります。
- 《または》長押しで、同日日付内で画像の早送りができます。

🗑 画像を消去する

再生メニューでは、画像を1コマだけ消去したり、内蔵メモリー/メモリーカード内の画像をすべて消去することができます。**誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。**1コマ再生画面での画像の消去については、28ページを参照してください。

再生メニューで1コマ消去する

再生メニューを使って画像を消去するには、次の操作を行います。

1 再生時に **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

2 🗑 **消去**を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 **1コマ**を選びます。

5 **MENU/OK** ボタンを押すと、1コマ削除画面が表示されます。

いろいろな再生

6 消去する画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、表示中のコマが消去されます。

MENU/OK ボタンを押すと同時に画像が消去されます。誤って消去しないように、ご注意ください。

手順 6 を繰り返すと、続けて画像を消去できます。消去を完了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

すべてのコマを消去する

1 前ページの手順 4 で**全コマ**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ削除画面が表示されます。

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、すべての画像が削除されます。

消去中は、右のような画面が表示されます。全コマ消去を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

注意

DISP/BACK ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。

メモ : 画像の消去

- メモリーカードがカメラに入っているときは、メモリーカード 内の画像が消去されます。メモリーカードが入っていないときは、内蔵メモリーの画像が消去されます。
- プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (→ 83 ページ)。
- プリント予約を設定している画像を消去しようとすると、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

動画の撮影と再生

動画を撮影する

シャッターボタンの代わりに（動画撮影）ボタンを押すだけで、撮影モードにかかわらず、音声付きのMotion JPEG 形式の動画を撮影できます（→ 111 ページ）。

1 ズームボタンを押して、ズーム操作をします。

2 （動画撮影）ボタンを押して撮影を開始します。

撮影中は、**REC** の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。

3 もう一度ボタンを押して、撮影を終了します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終わります。

チェック

- 撮影モードがのときは、ボタンを押しても動画撮影できません。のときは、ボタンを押すと、つなぎ撮り撮影を開始します（→ 51 ページ）。
- セットアップメニューの**デジタルズーム**を使うと、撮影中にもズームを変えられます。
- 撮影開始と同時にピントが固定されますが、露出とホワイトバランスはシーンに応じて自動的に変化します。撮影した動画の色と明るさが、撮影前の液晶モニターの表示と異なることがあります。

注意

音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようご注意ください。

動画のピクセル（サイズ）を変更するには

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押し、**動画ピクセル**を選びます。640（640 × 480 ピクセル、画質重視）または 320（320 × 240 ピクセル、記録時間重視）から選択できます。

動画をつなぎ撮り撮影する

複数回に分けて撮影した動画をつなげて、1 つの音声付き動画ファイルとして保存します。最長 15 秒または 60 秒分つなげられます。

つなぎ撮り動画を撮影する

1 撮影モード (→ 39 ページ) で **つなぎ撮り**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押します。

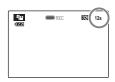
つなぎ撮り設定画面を表示します。

3 つなぎ撮りの種類を選びます。

つなぎ撮り設定	ピクセル数	記録可能時間(合計)
15 320	320 × 240	15 秒
60 320	320 × 240	60 秒
60 640	640 × 480	60 秒

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、つなぎ撮り動画の撮影画面に切り替わります。

5 ボタンを押して撮影を開始します。

撮影中は、**REC** の文字と残り時間のカウントダウンが表示されます。残り時間が 5 秒以下になると、カウントダウン表示が黄色く表示されます。

6 もう一度 ボタンを押して、撮影を終了します。

引き続き残りの動画を撮影するには、手順 5、6 を繰り返します。**MENU/OK** ボタンを押すと、それまで撮影した動画をつなげて保存します。

チェック

残り時間がなくなったときも、撮影を自動的に終了し、それまで撮影した動画をつなげて保存します。

つなぎ撮り撮影を中断する

を押すと、つなぎ撮り動画の撮影を中断できます。中断すると、電源をオフにしたり撮影モードを切り換えても、引き続き残りの動画を撮影できます (→ 52 ページ)。

プレビュー再生について

直前に撮影した画像であれば、プレビュー再生して確認したり、撮り直しすることができます。

直前に撮影した動画が表示されます。

- ∧ を押すと、直前に撮影した動画をプレビュー再生して確認できます。

プレビュー
停止　一時停止

- **DISP/BACK** ボタンを押してから 🎥 ボタンを押すと、直前に撮影した動画を撮り直せます。

続きの動画を撮影する

中断したつなぎ撮り動画の続きを撮影します。

1 撮影モードで **つなぎ撮り** を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

2 **続きを撮影**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、つなぎ撮り動画の撮影画面に切り替わります。

MENU /OK

4 🎥 ボタンを押して続きの動画を撮影します。もう一度 🎥 ボタンを押すと、撮影を終了します。

必要に応じて、手順 4 を繰り返します。

5 **MENU/OK** ボタンを押すと、それまで撮影した動画をつなげて保存します。

残り時間がなくなるか、内蔵メモリーまたはメモリーカードに空きがなくなった場合も、撮影を終了して、それまで撮影した動画をつなげて保存します。

注意

つなぎ撮り撮影中は、メモリーカードを取り換えないでください。

中断後のつなぎ撮り動画の撮影画面について

中断したつなぎ撮り動画の続きを撮影する場合、液晶モニターの右側に、すでに撮影した動画が最大 3 コマまで静止画表示されます。

直前に撮影した動画が一番上に表示されます。

動画の撮影と再生

▶ 動画を再生する

画像の再生時に動画を選択し、▼ を押すと動画を再生します。

- 再生を停止するには ▲ を、一時停止するには ▼ を押します。
- 他の画像 / 動画を見るには、◀ または ▶ を押します。
- 動画の早送り / 巻き戻しはできません。
- 動画の音量は、セットアップメニューの**音量**で設定できます（→ 94 ページ）。
- 動画の停止中に 🗑 ボタンを押すと、再生中の動画を消去できます（→ 28 ページ）。

注意

- スピーカーを指などでふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。
- 高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。

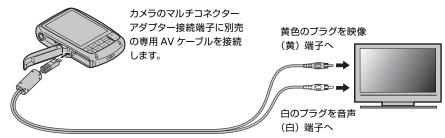
画像をテレビで見る

テレビに接続する

テレビに接続すると、写真やスライドショー（→ 81 ページ）を大勢で楽しむことができます。

1 ▶（再生）ボタンを約1秒間押して、カメラの電源をオンにします。

2 バッテリーカバーを開けます。

3 別売の専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルでカメラとテレビを接続します。

4 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換えます。

カメラの液晶モニターが消え、画像やボイスメモがテレビで再生されます。

チェック

- テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質が低下します。

注意

別売の専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

画像をパソコンに転送する

パソコンと接続する

付属のソフトウェア FinePixViewer を使うと、カメラと接続したパソコンに画像をコピーして、画像の閲覧、管理、印刷をすることができます。また、インターネットに接続できる環境があれば、デジカメプリントを注文する（Windows のみ）こともできます。カメラとパソコンを接続する前に、FinePixViewer をパソコンにインストールしてください。最新の FinePixViewer は、http://fujifilm.jp/ から入手できます。インストール前にカメラをパソコンに接続すると、正常に接続できなくなる場合があります。

Windows に FinePixViewer をインストールする

1 インストールの前に、お使いのパソコンが次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境	推奨環境	
OS	Windows Vista、Windows XP Home Edition/Windows XP Professional（SP2）、Windows 2000 Professional（SP4）（すべてプリインストールされたモデルのみ。）	Windows Vista	Windows XP
CPU	Pentium 200MHz 以上（Windows Vista/XP の場合は、Pentium 4/800MHz 以上）	Pentium4/ 3GHz 相当以上	Pentium4/ 2GHz 相当以上
メモリ	128MB 以上(Windows Vista/XP の場合は 512MB 以上)	1GB 以上	512MB 以上
ハードディスク空き容量	**インストールに必要な容量**：450MB 以上 **動作に必要な容量**：600MB 以上	15GB 以上	2GB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、16 ビットカラー以上	1024 × 768 ドット以上 フルカラー	
その他	• 本体標準の USB ポート。その他の USB ポートは動作保証外 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要		

チェック

FinePixViewer CD-ROMのラベル上部には、お手元のCD-ROMのバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

注意

55ページに記載されている以外のWindows OSでは使用できません。自作パソコンや、OSをアップグレードしたパソコンは、動作保証外です。

2 パソコンを起動します。

コンピューターの管理者アカウント（例えば、「Administrator」）でログインしてください。

3 起動中のアプリケーションを終了して、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。

インストーラーが自動で起動します。

Windows Vistaをお使いの方へ

同梱のCD-ROMをパソコンに入れたときに「自動再生」ウィンドウが表示された場合は、**SETUP.EXEの実行**をクリックしてください。「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されるので、**許可**をクリックしてください。

インストーラーを手動で起動する

インストーラーが自動起動しない場合は、手動で起動させます。

1 **マイコンピュータ**を開きます。
- Windows Vista/XP：スタートメニューから**コンピュータ**（Windows XPでは、**マイコンピュータ**）をクリックします。
- Windows 2000 Professional：デスクトップの**マイコンピュータ**アイコンをダブルクリックします。

2 **FINEPIX**のCD-ROMアイコンをダブルクリックします。「FINEPIX」ウィンドウが表示されます。

3 **SETUP**または**SETUP.exe**をダブルクリックします。

画像をパソコンに転送する

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがってソフトウェアをインストールしてください（Windows Media Player や DirectX が CD-ROM の中身よりも古いバージョンの場合は、これらのソフトウェアをインストールします）。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら、CD-ROM をパソコンから取り出し、**再起動**ボタンをクリックして、パソコンを再起動してください。

これでインストールは終了しました。続いて、「カメラとパソコンを接続する」（→ 61 ページ）に進んでください。

チェック

CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。

Windows パソコンから FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1 コントロールパネルを開き、「プログラムのアンインストール」（Windows Vista）または「プログラムの追加と削除」（Windows XP/2000）で FinePixViewer を削除してください。
2 確認ダイアログが表示されたら、メッセージをよくお読みの上、**OK** をクリックしてください。

Mac OS X に FinePixViewer をインストールする

1 お使いのパソコンが、次の使用条件に合うか確認します。

	動作環境
CPU	PowerPC または Intel Processor
OS	Mac OS X（バージョン 10.3.9 ～ 10.4、すべてプリインストールされたモデルのみ。）*
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量	インストールに必要な容量：200MB 以上 動作に必要な容量：400MB 以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、約 32,000 色以上
その他	• 本体標準の USB ポートを推奨。その他の USB ポートは動作保証外 • 画像ネットサービス、メール添付機能使用時に、インターネット接続ができる環境（通信速度 56kbps 以上推奨）が必要

* 最新の対応 OS については、下記のホームページをご覧ください。
http://fujifilm.jp/

2 パソコンを起動して、起動中のアプリケーションを終了します。

3 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れると、**FinePix** アイコンが表示されます。**FinePix** アイコンをダブルクリックし、続いて **Installer for MacOSX** をダブルクリックします。

4 **FinePixViewer のインストール**をクリックします。

画面の指示にしたがって、ソフトウェアをインストールします。管理者パスワードの入力画面が表示されたら、管理者名とパスワードを入力し、**OK** をクリックしてください。

5 「FinePixViewer のインストールが完了しました」というメッセージが表示されます。**終了**をクリックしてください。

6 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

注意

Web ブラウザに Safari をご使用の場合、CD-ROM を取り出す際に、「ディスク“FinePix”は使用中のため取り出せませんでした。」のメッセージが表示されることがあります。
その場合は、Dock 内にある Safari のアイコンをクリックして起動し、アプリケーションメニューの **Safari** － **Safari を終了**を選択して終了させてから、CD-ROM を取り出します。

FinePixViewer の自動起動について

カメラを接続したとき、FinePixViewer を自動起動させるには、

1 **アプリケーション**フォルダから**イメージキャプチャ (Image Capture)** を起動します。
2 **イメージキャプチャ**メニューより**環境設定**を選択します。

3 **カメラを接続したときに起動する項目**から**その他**を選択します。
4 **アプリケーション**フォルダから **FPVBridge** を選択し、**開く**ボタンをクリックします。
5 イメージキャプチャを終了します。

画像をパソコンに転送する

これでインストールは終了しました。続いて、61 ページの「カメラとパソコンを接続する」に進んでください。

チェック

- CD-ROM は再インストール時に必要となりますので、パソコンから取り出した後、湿気がなく日が当たらないところに大切に保存してください。
- FinePixViewer CD-ROM のラベル上部には、お手元の CD-ROM のバージョンが記載されています。ソフトウェアのアップデート対象バージョンの確認時やお問い合わせの際に必要な情報です。

Macintosh パソコンから FinePixViewer をアンインストール（削除）する

インストールしたソフトウェアが不要になったときのみアンインストールを行ってください。**アンインストールの前に FinePixViewer を終了し、カメラとパソコンの接続を外してください。**

1. アプリケーションフォルダにインストールされた FinePixViewerフォルダをドラッグして、「ゴミ箱」に入れます。
2. Finder メニューの**ゴミ箱を空にする**を選びます。

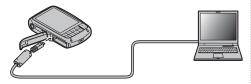
カメラとパソコンを接続する

実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。Windows パソコンをお使いの場合は、Windows の CD-ROM が必要になることがありますので、あらかじめご用意ください。

1 FinePixViewer をインストールしたパソコンを起動します。

2 ▶ ボタンを約 1 秒間押して、カメラの電源をオンにします。

3 バッテリーカバーを開けます。

4 付属の USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。

チェック

USB ケーブルは、向きに気をつけて、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。

5 画像を転送します。

FinePixViewer が自動的に起動するので、画面の指示に従って画像をパソコンにコピーします。転送を中止して終了するには、**キャンセル**をクリックします。

6 カメラとパソコンの接続を外します。

画像の保存が終了すると、カメラ / メディアの取り外し画面が表示されます。画面の指示に従い、カメラとパソコンとの接続を外します。バッテリーカバーを閉じてから、カメラの電源をオフにしてください。

注意

- 通信中に電源がオフになると、メモリーカードまたは内蔵メモリー内のデータが破壊されることがありますのでバッテリー残量にお気をつけください。
- 内蔵メモリーの画像を転送する場合は、メモリーカードを取り出してください。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、FinePixViewer の起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダを使って、転送してください。

- カメラとパソコンの通信時には、以下の操作をしないでください。メモリーカードや内蔵メモリーのデータが壊れたり、データが消えることがあります。
  - カメラの電源をオフにする
  - USB ケーブルを抜く
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行なってください。
- FinePixViewer が自動起動しないときは、ソフトウェアが正しくインストールされていない可能性があります。パソコンとカメラの接続を外して、ソフトウェアを再インストールしてください。
- FinePixViewerでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

FinePixViewer の使い方、トラブルシューティング、オンライン Q&A については、FinePixViewer のヘルプを参照してください。

Fotonoma（フォトノマ）について

パソコンにインストールした FinePixViewer を起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。ユーザー登録すると、製品サポートだけではなく、FUJIFILM の写真関連ポータルサイト「Fotonoma」（http://fotonoma.jp）への登録もできます。

ユーザー登録方法や Fotonoma についての詳しい情報は、付属の「Fotonoma ご案内ガイド」をご覧ください。

画像をプリントする

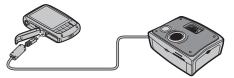
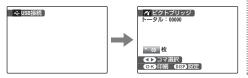
プリンターにカメラをつないでプリントする

PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わなくても、カメラを直接プリンターにつないでプリントできます。

プリンターに接続する

1 ▶ ボタンを約1秒間押して、カメラの電源をオンにします。

2 バッテリーカバーを開けます。

3 付属の USB ケーブルでカメラとプリンターを接続します。

液晶モニターに 🔌 が表示され、その後ピクトブリッジ画面が表示されます。

その場で選んでプリントする

1 プリントしたい画像を選びます。

2 プリント枚数を指定します。
最大 99 枚まで設定できます。

3 手順 1 と 2 を繰り返し、プリントしたい画像をすべて選びます。プリント設定が終わったら、**MENU/OK** ボタンを押します。確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

チェック

- プリント枚数を1枚も指定せずに **MENU/OK** ボタンを押したときは、表示中の画像が1枚プリントされます。
- お使いのプリンターの種類によっては、使えない機能があります。

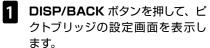
メモ：日付を入れてプリントする

撮影した日付を入れてプリントするには、手順1または2で **DISP/BACK** ボタンを押します。ピクトブリッジの設定画面が表示されますので、⌃ または ⌄ を押して、**日付ありプリント** を選び、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 日付を印字したくないときは、**日付なしプリント**を選びます。
- 日付プリントするには、撮影時にカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。
- 撮影時に日時が設定されていなかったり、日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、**日付ありプリント** が選べません。

プリント予約した設定でプリントする

プリント予約（DPOF）（→ 67ページ）であらかじめ選んだ画像を設定した枚数分プリントします。

1 **DISP/BACK** ボタンを押して、ピクトブリッジの設定画面を表示します。

2 **予約プリント**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認画面が表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プリントを開始します。

プリントの中止

プリント中に **DISP/BACK** ボタンを押すと、プリントを中止します。プリンターによっては、すぐに中止できないことやプリントの途中で停止することがあります。プリントの途中で動作が止まってしまったときは、カメラとプリンターの接続を外し、バッテリーカバーを閉めてからカメラの電源をオフにします。その後、63 ページの手順を繰り返してください。

プリンターとの接続を切るには

カメラの液晶モニターに**プリント中**と表示されていないことを確認してから、USB ケーブルを取り外します。

チェック

- 内蔵メモリーまたはこのカメラでフォーマットしたメモリーカードを使って、プリントしてください。
- カメラとプリンターを USB ケーブルで直接つないでいるときは、プリンター側で設定した用紙サイズと印字品質でプリントされます。

プリントサービス店でプリントする（お店プリント）

「お店プリント」とは、**プリント予約(DPOF)**(→ 67 ページ) であらかじめ DPOF 指定した画像の入ったメモリーカードをフジカラーデジカメプリントサービス (FDI サービス) 取扱店にお持ちいただき、「DPOF 指定でプリント」とお伝えいただくだけで、簡単に高画質でプリントできるサービスです。プリントしたい画像と枚数をカメラであらかじめ設定できるので、店頭での時間や手間を省けます。

事前にカメラでプリントする画像と枚数を設定します（**プリント予約 (DPOF)** → 67 ページ)。

画像の入ったメモリーカードをカメラから取り出します。

メモリーカードをお店にお持ちいただくだけで、手軽に高画質でプリントできます。
詳細は、http://fujicolorprint.jp/ をご覧ください。

デジカメプリントのご注文について

- カメラであらかじめ DPOF 指定していなくても、フジカラーデジカメプリントサービス取扱店の店頭で、プリントしたい画像や枚数、日付印字の有無を指定できます。お店のプリント受付機をご利用いただくと、画像を見ながら簡単に注文できます。
- 一部の店舗では、DPOF 指定をお受けしていない場合がありますので、ご注文時にご確認ください。
- パソコンに保存した画像なら、インターネットでもデジカメプリントをご注文いただけます。画像をパソコンに転送する方法は、55 ページをご参照ください。
- 内蔵メモリー内の画像は、お店プリントできません。再生メニューの**画像コピー** (→ 85 ページ) でメモリーカードに画像をコピーしてから**プリント予約 (DPOF)** で DPOF 指定して、プリントサービス店にお持ちください。
- 日付プリントする場合は、撮影時にすでにカメラの日時設定が正しく設定されている必要があります。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください (→ 22 ページ)。

プリントする画像を指定する（🖨 プリント予約（DPOF））

再生メニューの 🖨 **プリント予約 (DPOF)** であらかじめ DPOF 指定（プリント予約）しておくと、カメラを PictBridge 対応プリンターに直接つないでプリントしたり (→ 63 ページ)、フジカラーデジカメプリントサービス（FDI サービス）取扱店でお店プリントするとき (→ 66 ページ）に、指定した内容で簡単にプリントできます。

DPOF 指定

DPOF（ディーポフ）とは、Digital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたい画像や枚数、日付の印字の有無などの指定情報を、メモリーカードなどに記録するときの形式です。

■ 日付あり設定 / 日付なし設定

1 再生メニューで**プリント予約 (DPOF)** を選びます (→77 ページ)。

2 **日付あり設定**または**日付なし設定**を選びます。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

4 DPOF 指定する画像を選びます。

5 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

- DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまで ⌄ を押します。

6 プリントしたいすべての画像に対して手順 4 と 5 を行います。

- 設定した内容を保存して終了するには、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 設定を変更せずに終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

7 合計枚数が表示されますので、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。

DPOF 指定（プリント予約）した画像には、再生時に が表示されます。

■ 全コマ解除

現在設定されている DPOF 指定（プリント予約）を一度に解除できます。

プリント予約全解除 OK?
OK 実行 BACK やめる

全コマ解除を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、右のような確認画面が表示されます。もう一度、**MENU/OK** ボタンを押すと、DPOF 指定がすべて解除されます。

チェック

- 内蔵メモリーに記録している画像の DPOF 指定を変更するときは、メモリーカードを取り出してください。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、右図のようなメッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、既に設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

撮影の設定を変える — 撮影メニュー

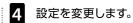
撮影時に使う機能を設定できます。

撮影メニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、撮影メニューを表示します。

2 変更する項目を選びます。

3 設定の変更に移ります。

4 設定を変更します。

5 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

チェック

撮影メニューで設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

撮影メニュー一覧

メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
撮影モード	撮影目的や状況（シーン）に適した撮影モードを設定できます（→ 39 ページ）。	[icons]	[icon]
顔キレイナビ	カメラが人物の顔を検出し、人物を明るく目立つように撮影できます（→ 29 ページ)。	ON ON/ ON OFF/OFF	OFF
露出補正	画像の明るさを調整できます（→71 ページ）。	–2EV ～ +2EV （約 1/3EV ステップ）	± 0
ホワイトバランス	光源による色の違いを調整できます（→72 ページ）。	AUTO/[icons]	AUTO
静止画ピクセル	撮影する静止画の大きさを変更できます(→72ページ)。	10M F/10M N/9M 3:2/5M/3M/2M/03M	10M N
動画ピクセル	撮影する動画の大きさを変更できます（→ 50 ページ）。	640/320	640
感度	光に対する感度を変更できます（→73 ページ）。設定値が大きいほど高感度になり、暗いところでも撮影できます。	AUTO/1600/800/400/200/100/64	AUTO
FINEPIX カラー	色調を変更できます（→73 ページ）。鮮やかな色や白黒で撮影できます。	STD/C/B	STD
クイックショット	ピント合わせのスピードを速くできます（→74 ページ）。	ON/OFF	OFF
連写	連続撮影ができます（→74 ページ）。	[icons]/OFF	OFF
AF モード	ピントの合わせ方を変更できます（→76 ページ）。	[icons]	[icon]
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます。（→ 89 ページ）。	[icon]/1/2/3	—

メニューを使いこなす

画像の明るさを変える（露出補正）

画像の明るさを調整できます。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使います。

＋補正
（暗い画像を明るくします）

－補正
（明るい画像を暗くします）

露出補正の目安

- **逆光の人物撮影：** +2/3EV ～ +1 2/3EV

- **スキー場などの反射が強く明るい場所：**+1 EV

- **画像の大部分を空が占める場合：**+1 EV
- **スポットライトを浴びた被写体、特に背景が暗い場合：** － 2/3EV
- **常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：** － 2/3EV

チェック

「EV」とは→ 111 ページ

チェック

露出補正を± 0 以外に設定すると、液晶モニターに が表示されます。設定した露出補正値は、カメラの電源をオフにした後も保持されます。露出補正を解除するには、± 0 に設定してください。

メニューを使いこなす

色合いを調節する（WB ホワイトバランス）

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます（「ホワイトバランス」とは→ 112 ページ）。

設 定	説 明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。
☀	晴天の屋外での撮影用です。
⛅	曇天や日陰などでの撮影用です。
蛍光灯1	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯2	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
蛍光灯3	白色蛍光灯の下での撮影用です。
電球	電球、白熱灯の下での撮影用です。

人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO** の設定で望んだような結果が得られない場合は、光源に合ったホワイトバランスを設定してください。

チェック

撮影環境によって撮影結果が変わります。撮影後は画像を再生して、色味を確認してください。

記録する静止画の大きさを変える（静止画ピクセル）

記録する静止画の大きさを変更できます。サイズ（ピクセル）が大きいほど画質が良くなり、小さいほどより多くの枚数を記録することができます。

設 定	用途例
10M F 10M N 9M 3:2 5M	四切（254mm × 305mm）、六切（203mm × 254mm）、A4 サイズ程度でプリントする場合に適しています。画質を優先する場合は 10M **F** を選んでください。 9M **3:2** は縦横比 3：2 です。
3M	2L（127mm × 178mm）、A5 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
2M	L（89mm × 127mm）サイズ、ハガキ、A6 サイズ程度でプリントする場合に適しています。
03M	電子メールへの画像添付やホームページ掲載に適しています。

現在の設定で撮影可能な枚数（→ 113 ページ）が、液晶モニターのピクセルアイコンの右側に表示されます。

チェック

静止画ピクセルは、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。

縦横比とピクセルについて

静止画の大きさ（ピクセル）を 9M 3:2 に設定すると、静止画の縦横比がフィルムやポストカードと同じ 3：2 になります。**静止画ピクセル**を 9M 3:2 以外に設定すると、縦横比は 4：3 になります。

4:3

3:2

感度を変更する（ISO 感度）

M で光に対する感度を変更できます。感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて感度設定を使い分けてください。

AUTO のときは、被写体の明るさに応じて感度が自動的に設定されます。

M で **AUTO** 以外の感度に設定すると、液晶モニターに感度の設定値が表示されます。

色調を変更する（FINEPIX カラー）

色調を変更できます。色鮮やかに撮影したり、白黒で撮影できます。

設定	説明
F-スタンダード	標準的なコントラストと色味で撮影します。通常はこの設定でお使いください。
C *F*-クローム	鮮やかなコントラストと色味で撮影します。花や青空や深緑などの風景に適しています。撮影モードが 、、、、、M の場合のみ設定できます。
B *F*-B&W	白黒の画像を撮影します。

***F*-スタンダード**以外に設定すると、液晶モニターにアイコンが表示されます。

チェック

- 設定した色調は、電源をオフにしても撮影モードを切り換えても保持されます。
- 被写体によっては、C ***F*-クローム**の効果が液晶モニターでわかりにくい場合もあります。

メニューを使いこなす

ピント合わせを速くする（ クイックショット）

シャッターボタンを半押ししたときのピント合わせの時間が短くなり、すばやく撮影できます。シャッターチャンスを逃がしたくないときに便利です。撮影可能距離は約 1m～無限遠(∞) です。

チェック

- クイックショットが **ON** のとき、セットアップメニューの **モニター表示**は設定できません (→ 93 ページ)。
- クイックショットを **ON** にして撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。

連続撮影する（ 連写）

動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。

チェック

連写速度は、シャッタースピードによって異なります。

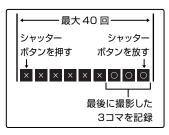
■ エンドレス連写

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。シャッターボタンを放すか、メモリーカードまたは内蔵メモリーの空きがなくなると、撮影を終了します。

メニューを使いこなす

■ サイクル連写

シャッターボタンを押している間、最大 40 コマ連続して撮影します。このうち、最後の 3 コマを記録します。

■ 連写

シャッターボタンを押している間、最大 3 コマ連続して撮影します。

チェック：サイクル連写と 連写

- ピントと明るさは、1 コマ目を撮影したときに決定されます。
- 撮影できる画像の枚数は、内蔵メモリーやメモリーカードの空き容量によって異なります。
- 画像の記録に時間がかかることがあります。
- 撮影後、液晶モニターに撮影結果が表示されます。

チェック：セルフタイマー

エンドレス連写または **サイクル連写**でセルフタイマーを使うと、1 コマしか撮影されません。

ピント合わせの方法を変える（AF AF モード）

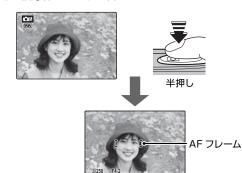
撮影モードが M で、顔キレイナビが OFF のときに、ピント合わせの方法を変更できます。ただし、マクロ撮影時はピントは常に中央付近に固定されます。

■ センター固定

液晶モニター中央にある被写体にピントを合わせます。AF/AE ロック撮影（→ 31 ページ）と併用すると、より効果的です。

■ オートエリア

シャッターボタンを半押しすると、液晶モニター中央付近にあるコントラストが高い被写体を自動認識して、その被写体にピントを合わせます。

チェック

ピントを合わせたい位置に AF フレームが表示されない場合は、**センター固定**を選び、AF/AE ロック（→ 31 ページ）でピント合わせをしてください。

再生の設定を変える — 再生メニュー

画像の再生時に使う機能を設定できます。

再生メニューの使い方

1 ▶ ボタンを押して再生モードに切り換えます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、再生メニューを表示します。

3 変更する項目を選びます。

4 設定の変更に移ります。

5 設定を変更します。

6 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

再生メニュー一覧

メニュー項目	機 能
消去	画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去できます (→ 48 ページ)。
再生画像選択	画像のタイプ別に分けて再生することができます (→78 ページ)。
ブログモード	画像を加工しブログ用の小さなサイズで保存できます (→79 ページ)。
スライドショー	画像を順番に自動再生します (→ 81 ページ)。
赤目補正	顔キレイナビで撮影した画像の赤目を補正します (→ 81 ページ)。
画像回転	画像を回転させせます (→ 82 ページ)。
プロテクト	誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトします (→ 83 ページ)。
トリミング	必要な部分を切り抜いた画像のコピーを作ります (→ 84 ページ)。
画像コピー	内蔵メモリーとメモリーカード間で、画像をコピーします (→ 85 ページ)。
ボイスメモ	画像に音声メモをつけます (→ 86 ページ)。
表示効果	画像の切り替え時の表示効果を設定します (→ 88 ページ)。
動画カット	必要な部分を切り取った動画のコピーを作ります (→ 88 ページ)。
プリント予約 (DPOF)	DPOF や PictBridge 対応のプリンターでプリントする画像を指定します (→ 67 ページ)。
セットアップ	カメラの基本的な設定を変えられます。(→ 89 ページ)。

タイプ別に画像を再生する (再生画像選択)

画像のタイプ別に分けて再生することができます。

メニュー項目	機 能
静止画	静止画のみを再生します。
動画	動画のみを再生します。
ブログ	ブログ画像のみを再生します。
全て	全ての画像を再生します。

注意

再生画像選択で画像タイプを選んでいても、以下の操作ではタイプの区別なく動作します。

- **消去**で**全コマ**消去を選ぶと、全ての画像が消去されます。
- **プリント予約 (DPOF)** の**全コマ解除**を選ぶと、全ての画像でプリント予約が解除されます。
- **プロテクト**の**全コマ解除**を選ぶと、全ての画像でプロテクトが解除されます。

メニューを使いこなす

ブログ用に画像を加工する（Blog ブログモード）

画像を加工しブログ用の小さなサイズで保存ができます。

1 加工するコマ（ファイル）を選びます。

2 加工メニュー画面を表示します。

アスペクト変更
明るさ
コントラスト
カラー
セピア
イラスト調
OK 決定　BACK やめる

3 加工の項目を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押して設定の変更に移ります。

5 設定を変更します。

一部のメニューではこの手順はありません。

6 **MENU/OK** ボタンを押して画像を加工します。

7 加工した画像を保存します。

元の画像は残っています。

メモ

- **W**（広角ズーム）/**T**（望遠ズーム）ボタンを使うと、画像を加工する前にカットしたい大きさに拡大（トリミング）できます。拡大表示中に ︿、﹀、〈 または 〉を押すと、表示される範囲を移動できます。**MENU/OK** ボタンを押すとトリミングする大きさを決定します。
- ブログ用画像のサイズは、セットアップメニューで設定できます（→ 90 ページ）。
- 保存されたブログ用画像コピーには、BLOG で始まるファイル名がつけられます。
- 保存したブログ用画像を再生すると、画面に Blog が表示され、周囲に黒い枠が表示されます。
- 保存したブログ用画像をトリミングしたり回転させたりすることはできません。

■ 画像加工メニュー一覧

メニュー	機能	設定	工場出荷時
アスペクト変更 *1	画像のアスペクト比を変更します。	横画像：4:1、8:3、16:9、3:2、4:3、1:1、3:4、1:3 縦画像：3:1、4:3、1:1、3:4、2:3、9:16、3:8、1:4	横画像：4:3 縦画像：3:4
明るさ	画像の明るさを変更します。	−5 〜 +5	0
コントラスト	画像のコントラストを変更します。	−5 〜 +5	0
カラー	画像の赤みと青みを変更します。+ 側に設定すると赤みが強くなり、−側に設定すると青みが強くなります。	−5 〜 +5	0
セピア	画像を黒白やセピア調にします。	0 〜 5	0
イラスト調	画像をイラスト調にします。	−	−
絵画調	画像を絵画調にします。	−	−
ミニチュア調	風景写真などの画像を、ミニチュア模型を撮影した画像のようにします。	−	−
ズーミング	被写体にズームしているような動きのある画像にします。顔キレイナビで撮影した画像は、顔にズームします。	−	−
ドロップシャドウ *1	画像に影を付けます。また、余白の色を選ぶことができます。*2	8 種類	FFFFFF
斜めフレーム *1	画像を斜めに切り抜いて影を付けます。また、余白の色を選ぶことができます。*2	8 種類	FFFFFF
顔モザイク	顔キレイナビで撮影した画像は、最大で 4 人まで顔にモザイクをかけることができます。顔キレイナビを OFF にして撮影した画像には、画像の中心にモザイクがかかります。	0 〜 5	0

*1 が付いたメニューで画像を加工すると、他の加工を追加することはできません。

*2 各選択項目は、FFF4F4 など HTML のカラーコードで示しています (→ 114 ページ)。ホームページやブログなどの背景色と余白の色を合わせることができます。

連続して再生する（スライドショー）

撮影した画像を順番に自動再生します。

- スライドショーの種類を指定して **MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーが開始します。
- 途中でスライドショーを中止するには、**MENU/OK** ボタンを押します。

メニュー項目	機 能
ノーマル フェード	《または》を押してコマ送りできます。フェードを選択すると、画像がフェードアウトしながら、切り替わります。
ノーマル フェード	《または》を押してコマ送りできます。顔キレイナビ（→ 29 ページ）で撮影した画像の場合は、検出した顔も拡大表示して再生します。
マルチ	複数コマを一度に表示できます。
スクラップブック	ランダムな大きさと配置で複数コマの画像を再生します。
BGM 設定	スライドショー中の BGM を設定できます。

メモ：ガイダンス

DISP/BACK ボタンを押すと、液晶モニターにガイダンスが表示されます。

チェック

動画は自動的に再生が始まり、終わると次の画像に進みます。

赤目画像を補正する（赤目補正）

顔キレイナビ（→ 29 ページ）で撮影した画像（が表示されている画像）の赤目を補正できます。画像の再生時に赤目を補正したい画像を選んでから、再生メニューで **赤目補正**を選んでください。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、赤目を補正します。

赤目検出後、検出した赤目を補正します。

メニューを使いこなす

2 赤目補正が完了すると、赤目補正した画像を別ファイルとして保存します。

チェック

- 顔が検出できないときや横顔の場合、赤目補正されません。また、被写体によっては、赤目補正できなかったり、補正した結果に差が生じることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- **ブログモード**（→79 ページ）で保存した画像や白黒の画像は、赤目補正できません。
- 他のカメラで撮影した画像（🎁 が表示されている画像）は、赤目補正できません。
- 赤目補正済みの画像（👁 が表示されている画像）は、それ以上赤目補正できません。

画像を回転する（画像回転）

縦位置で撮った画像を、液晶モニターに縦位置で表示できるように回転させます。ただし、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。

1 回転する画像を選びます。

2 画像を回転させます。

⌄ を押すと画像は時計回りに 90° 回転します。⌃ を押すと反時計回りに 90° 回転します。

3 **MENU/OK** ボタンを押して決定します。

回転を取り消すには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

次に同じ画像を再生させると、自動的に回転して表示されます。

メニューを使いこなす

☛ チェック
- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転させてください (→ 83 ページ)。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。

画像を保護する（ プロテクト）

画像を誤って消去しないように、大切な画像にプロテクトを設定して保護できます。

■ 設定 / 解除

選んだ画像にプロテクトをかけたり解除したりします。

1 プロテクトする画像を選びます。

プロテクト
されていない画像

プロテクト
されている画像

2 **MENU/OK** ボタンを押して、画像にプロテクトを設定します。

もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、プロテクトを解除します。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像にもプロテクト設定します。

設定を終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマ設定

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像がプロテクトされます。

■ 全コマ解除

MENU/OK ボタンを押すと、すべての画像のプロテクト設定を解除します。

画像の数が多いと、**全コマ設定**や**全コマ解除**に時間がかかることがあります。操作を中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押してください。

メニューを使いこなす

注意
メモリーカードや内蔵メモリーをフォーマット（→ 94 ページ）すると、プロテクトした画像も消去されます。

画像の一部を切り抜く（トリミング）

撮影した画像の必要な部分をトリミングする（切り抜く）ことができます。画像の再生時にトリミングしたい画像を選んでから、再生メニューで **トリミング**を選んでください。

1 画像を切り抜きたい大きさに拡大します。

2 切り抜きたい部分に移動します。

ナビゲーションで現在の表示位置がわかります。

トリミングを中止するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

3 **MENU/OK** ボタンを押します。

トリミング後の記録画素数（5M、3M、2M または 03M →113 ページ）が液晶モニター上部に表示されます。

4 もう一度 **MENU/OK** ボタンを押すと、トリミングした画像を別ファイルとして保存します。

メモ：顔キレイナビ
顔キレイナビ（→29 ページ）で撮影した画像（が表示された画像）を選んで、ボタンを押すと、ピントの合った顔の部分が拡大表示されます。主被写体を切り抜きたいときに便利です。

チェック
手順1での拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。記録画素数が 03M のときは、**OK 実行**が黄色で表示されます。元画像の**静止画ピクセル**が 9M **3：2** のときも、トリミングした画像の縦横比は、4：3 になります。

画像をコピーする（COPY 画像コピー）

カメラの内蔵メモリーとカメラに装着したメモリーカード間で、画像をコピーすることができます。

1 **IN カメラ ➡ SD カード**または **SD カード ➡ IN カメラ**を選びます。

2 設定の変更に移ります。

3 **1 コマ**または**全コマ**を選びます。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

■ 1 コマコピーする（1 コマ）

選択した画像をコピーします。

1 コピーする画像を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押して、表示中の画像をコピーします。

3 手順1と2を繰り返して、必要に応じて他の画像もコピーします。

コピーを終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

■ 全コマをコピーする（全コマ）

すべてのコマをコピーするには、**MENU/OK** ボタンを押します。コピーを中止して終了するには、**DISP/BACK** ボタンを押します。

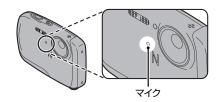
注意

- コピー先の空き容量がなくなると、コピーを終了します。
- **プリント予約(DPOF)**(→ 67 ページ) していた画像をコピーした場合、プリント予約の設定はコピーされません。

画像に音声を入れる（ボイスメモ）

静止画に最長 30 秒間の音声を入れたり、録音した音声を再生(→ 87 ページ) することができます。画像の再生時にボイスメモを録音したい画像を選んでから、再生メニューで **ボイスメモ**を選んでください。

チェック

動画やプロテクト設定した画像には、ボイスメモは録音できません。ボイスメモを録音する前に、プロテクトを解除してください。

1 **MENU/OK** ボタンを押して、録音を始めます。

カメラを約 20cm 離すと、うまく録音できます。

2 **MENU/OK** ボタンをもう一度押すと、録音が終了します。

30 秒経過しても録音は終了します。

メニューを使いこなす

チェック

- ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音の選択画面が表示されます。ボイスメモを上書きしたいときは、再録音を選びます。

- ボイスメモの録音形式は、PCM 形式 WAVE ファイル (→ 111 ページ) です。最大ファイルサイズは、約 480KB(30 秒録音時) です。

ボイスメモを再生する

画像の再生時にボイスメモ付きの画像 (🎙 が表示された画像) を選択すると、ボイスメモを自動的に再生します。

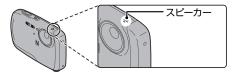
液晶モニターに進行状況を示すバーが表示されます。

ボイスメモの再生が終了すると、自動的に再生を繰り返します。再生を終了するには ∧ を、一時停止するには ∨ を押します。他の画像を表示するには、〈 または 〉 を押します。ボイスメモの音量は、セットアップメニューの**音量**で設定できます (→ 94 ページ)。

チェック

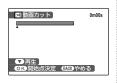
- 早送り / 巻き戻しはできません。
- 他のカメラで録音したボイスメモは再生できないことがあります。

注意

スピーカーをふさがないでください。音が聞き取りにくくなります。

画像切り換え時の表示効果を選択する（ 表示効果）

画像再生時に、表示する画像を切り換えるときの効果を設定します。

動画の一部を切り取る（ 動画カット）

撮影した動画の必要な部分だけにカットする（切り取る）ことができます。画像の再生時に動画カットしたい動画を選んでから、再生メニューで **動画カット**を選んでください。

1 カットを開始したいところまで動画を再生します。

 を押して動画を再生します。もう一度 を押すと、一時停止します。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、開始点を決定します。

3 カットを終了したいところまで動画を再生します。

 を押して動画を再生します。もう一度 を押すと、一時停止します。

チェック

DISP/BACK ボタンを押すと、手順 1 に戻り、動画カットをやり直せます。

4 **MENU/OK** ボタンを押すと、最終点を決定して、カットした画像を別ファイルとして保存します。

元の動画は残っています。

メニューを使いこなす

カメラの設定を変える — セットアップメニュー

日時の設定、モニターの明るさなど、カメラの基本的な設定を変えられます。

セットアップメニューの使い方

1 **MENU/OK** ボタンを押して、メニューを表示します。

2 **セットアップ**を選びます。

❯ を押して、セットアップ画面を表示します。

3 ページを選びます。

4 項目の選択に移動します。

5 変更する項目を選びます。

6 設定の変更に移ります。

7 設定を変更します。

8 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

セットアップメニュー一覧

	メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
撮影	撮影画像表示	撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面でピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます (→ 92 ページ)。	3 秒 / 1.5 秒 / 画像拡大チェック	1.5 秒
	コマ NO.	コマ番号の付けかたを設定します (→ 92 ページ)。	連番 / 新規	連番
	イルミネーション	起動時と撮影完了後にイルミネーションを点灯させるかどうかを設定します (→ 93 ページ)。	ON／OFF	ON
	デジタルズーム	デジタルズームを使用するかどうかを設定します (→ 93 ページ)。	ON／OFF	OFF
	モニター表示	液晶モニターの見え方を、**節電**または**なめらか**に設定できます (→ 93 ページ)。	節電 / なめらか	なめらか
1	日時設定	日付と時刻を設定します。日時の設定方法については、「使用する言語と日時を設定する」の手順3以降をご覧ください (→ 22 ページ)。	—	—
	音量	シャッター音、操作音、再生音の音量を設定します (→ 94 ページ)。	—	—
	音色	シャッター音、起動音、操作音の種類を設定します (→ 94 ページ)。	—	—
	ブログ画像サイズ	ブログに使う画像のサイズ（ピクセル）を設定します。	640 スタンダード / 320 スモール	640
	モニター明るさ	液晶モニターの明るさを設定します (→ 94 ページ)。	-5 ～ +5	0

メニューを使いこなす

	メニュー項目	機能	設定	工場出荷時
2	フォーマット	内蔵メモリーまたはメモリーカードを初期化します（→ 94 ページ）。	―	―
	言語 /LANG.	液晶モニターに表示する言語を設定します。	**日本語 / 英語**	**日本語**
	自動電源 OFF	何も操作していないときに、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定します (→ 95 ページ)。	5 分 /2 分 /OFF	2 分
	世界時計	時差を設定します (→ 95 ページ)。	⌂ / ✈	⌂
	配色設定	メニューやカーソルの色を設定できます。	―	―
3	**撮影ガイド表示**	機能の説明を表示するかどうかを設定します。	ON／OFF	ON
	ビデオ出力	ビデオ出力を **NTSC** にするか **PAL** にするかを設定します。日本国内で使用するときは、**NTSC** を選んでください。	NTSC／PAL	NTSC
	リセット	コマ NO.、**日時設定**、**世界時計**、**配色設定**、**ビデオ出力**以外のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。❯ を押すと確認画面が表示されます。リセットするには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。	―	―

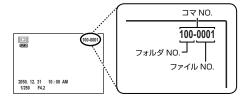
撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。また、拡大画面を表示してピントの状態を確認できる**画像拡大チェック**も選べます。

メニュー項目	機 能
3 秒	撮影直後、画像が約 3 秒間表示され、その後記録されます。
1.5 秒	撮影直後、画像が約 1.5 秒間表示され、その後記録されます。
画像拡大チェック	**静止画ピクセル**が 03M より大きいとき、撮影直後に画像が拡大表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。再生時のズーム（拡大）操作については、45 ページをご覧ください。 ・ピントが合っているか確認したいときに便利です。 ・**連写**が **OFF** 以外のとき（→74 ページ）と撮影モードが またはのときは、画像拡大チェックを設定できません。

チェック
- **3 秒**、**1.5 秒**のときに表示される画像は、実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- **エンドレス連写**に設定しているときは、**撮影画像表示**は使用できません。

コマ NO.

コマ NO. の付け方を設定します。コマ NO. とは、画像ファイル名に付けられた番号（フォルダ NO. +ファイル NO.）のことです。画像の再生中は、次の図のように、コマ NO. が表示されます。

メニュー項目	機 能
連番	メモリーカードまたは内蔵メモリー内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。**連番**に設定すると、ファイル名の重複を防ぐことができます。
新規	新しいメモリーカードを入れる度に、ファイル NO. が 0001 から付けられます。

チェック
- **リセット** (→ 91 ページ）を行っても、コマ NO. はリセットされません。
- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります (→ 107 ページ)。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

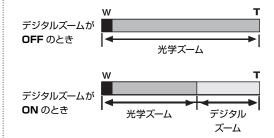
イルミネーション

ON にすると、起動時にイルミネーションを点灯します。また、イルミネーションを点灯して、被写体に撮影が完了したことを知らせます。

デジタルズーム

ON にすると、光学ズームの望遠端（最大倍率）で **T** ボタンを押すことにより、デジタルズームを使用できます。デジタルズームを解除するには、光学ズーム域に入るまで、**W** ボタンを押します。

注意
デジタルズームを使うと、光学ズームに比べて画質が劣化します。

■ ズームバー表示

モニター表示

液晶モニターの見え方を、**節電**または**なめらか**に設定できます。**なめらか**にすると、表示がなめらかに見やすくなりますが、バッテリーの消耗が早くなります。**節電**にすると、消費電力を抑えるため、バッテリーを長持ちさせられます。再生時、動画撮影時、**クイックショット**では、**モニター表示**の設定は無効になります。

音量

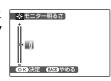
シャッター音、操作音、再生音の音量を設定します。

メニュー項目	機 能
シャッター音量 / 操作音量	シャッター音と操作音の音量を設定できます。音を消したいときは **OFF** を選びます。❮ または ❯ を押して音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。
再生音量	❯ を押すと、再生音量の設定画面が表示されます。∧ または ∨ を押して動画とボイスメモの再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。 再生音量 7 OK 決定　BACK やめる

音色

シャッター音、起動音、操作音の音色を設定します。❮ または ❯ を押して音色を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

モニター明るさ

∧ または ∨ を押して液晶モニターの明るさを選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。

フォーマット

カメラにメモリーカードが入っているときは、メモリーカードをフォーマットします。メモリーカードが入っていないとき（IN が表示されているとき）は、内蔵メモリーをフォーマットします。フォーマットを行うには、**実行**を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

注意

- フォーマットすると、プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。誤ってフォーマットすると元には戻せません。消去したくない画像は、パソコンにコピーしてください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

自動電源 OFF（オートパワーオフ）

設定した時間（2 分間または 5 分間）カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。**OFF** を選ぶと、電源は自動的にオフにはなりません。バッテリーを長持ちさせたいときは、**自動電源 OFF** を **OFF** 以外に設定してください。**自動電源 OFF** の設定にかかわらず、プリンターやパソコンと接続しているとき、動画の記録中または再生中のとき、およびスライドショーの再生中は電源はオフにはなりません。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

1 ✈ **現地**を選びます。

2 時差設定に移ります。

3 時差を設定します。

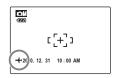
❮ または ❯ で項目（「+」「−」、時間、分）を選び、⌃ または ⌄ を押して、設定を変更します。時差は 15 分単位で設定できます。

4 **MENU/OK** ボタンを押して、決定します。

メニューを使いこなす

5 現地時間とホームの時間を切り換えます。

カメラの時計をお住まいの地域の時間に戻すには、世界時計画面で ⌂ **ホーム**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。現地時間にするには、✈ **現地**を選びます。

✈ **現地**を選ぶと、メニューから撮影画面に戻るたびに、液晶モニターに ✈ と日付が約 3 秒間黄色で表示されます。

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず ⌂ **ホーム**に戻して、日時を再確認してください。

カメラで使えるアクセサリー

別売アクセサリー

このカメラは、さまざまな富士フイルムおよび他社製品に対応しています。

テレビで見る

専用A/Vケーブル（別売）で接続

モニターテレビ(市販品)

DIGITAL CAMERA
FINEPIX Z33WP

パソコンに接続して画像を保存する

USBケーブル（付属品）で接続

パーソナルコンピューター（市販品）

SDカードスロットまたはカードリーダーで接続

プリントする

USBケーブル（付属品）で接続

PictBridge

ピクトブリッジ対応プリンター（市販品）

SD/SDHCメモリーカード（市販品）

DPE

FUJICOLOR デジカメプリント

デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取扱店

手軽に高画質プリントができる
フジカラーデジカメプリントサービス（FDiサービス）
詳細は http://fujicolorprint.jp をご覧ください。

プリンター（市販品）

別売アクセサリー一覧

このカメラでは、次の富士フイルム製別売アクセサリーを使用できます。

充電式バッテリー NP-45：リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。	
専用A / V（音声 / 映像）ケーブル AV-C1：カメラとテレビを接続できます。	
シリコンジャケット SJ-FXZ33：カメラへの傷や衝撃をやわらげ、グリップ性を向上させます。	
フロートストラップ FS-FXZ33：カメラが水没することを防ぎます。	

※ 最新情報については、富士フイルムホームページ（http://fujifilm.jp/）をご覧ください。

困ったときは

トラブルシューティング /FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 浸水してしまったとき

症 状		処 置	ページ
浸水について	誤って、水中でバッテリーカバーを開けてしまいました。	電源を入れずに、そのまま弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。	123
	誤って、バッテリーカバーが完全に閉じていないときに、水につけてしまいました。		

■ 電源とバッテリー

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
バッテリー、電源について	ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーを使ってください。	14、16
		バッテリーを正しい向きで入れていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	16
		バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	16
	バッテリーの減りが早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていませんか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
		バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
		撮影メニューの**クイックショット**が **ON** になっていませんか？	**クイックショット**を **ON** にして撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	74
		撮影モードが SR AUTO に設定されていませんか？	撮影モードが SR AUTO に設定されていると、バッテリーの消耗が早くなります。	40
		同じバッテリーを長期間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性があります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	14、16

症状		ここをチェック!	処置	ページ
充電について	充電が開始されません。	バッテリーは入っていますか?	バッテリーを入れてください。	16
		バッテリーは正しい向きで入っていますか?	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	16
	充電に時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていませんか?	低温時は、充電時間が長くなるときがあります。	—
	充電中に充電ランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか?	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	—
		バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	—

■ メニューなどの設定時

症状	ここをチェック!	処置	ページ
メニューが英語で表示されています。	セットアップメニューの **言語 /LANG.** が **ENGLISH** になっていませんか?	言語設定を**日本語**にしてください。	89、91

■ 撮影時

症状		ここをチェック!	処置	ページ
基本撮影について	シャッターボタンを押しても撮影できません。	撮影可能枚数が0になっていませんか?	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	18、48
		メモリーカードはこのカメラでフォーマットされていますか?	カメラでフォーマットしてください。	94
		メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか?	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	18
		メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	18
		バッテリー残量が少なくなっていませんか?	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	14、16
		電源がオフになっていませんか?	電源をオンにしてください。	21
	撮影後、映像が消えて黒い画面になりました。	フラッシュ撮影しましたか?	フラッシュを充電するために黒い画面になることがありますので、そのままお待ちください。	34

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
ピントについて	ピントを合わせられません。	近距離のものを撮影しようとしていませんか？	マクロを設定してください。	33
		マクロのまま、遠くのものを撮影しようとしていませんか？	マクロを解除してください。	
		オートフォーカスの苦手な被写体（→ 32 ページ）を撮影しようとしていませんか？	AF/AE ロック撮影してください。	31
顔キレイナビ（顔検出機能）について	顔キレイナビ（顔検出機能）が設定できません。	顔キレイナビ（顔検出機能）を設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	39
	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	29
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	25
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されているときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔キレイナビを使わずに AF/AE ロック撮影してください。	31
マクロ（近距離）について	マクロ（近距離）が設定できません。	マクロ（近距離撮影）を設定できない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	39
動画について	動画が撮影できません。	撮影モードが に設定されていませんか？	撮影モードを変更してください。	39

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	フラッシュが発光しない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	39
		バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	14、16
		連写が設定されていませんか？	**連写**を **OFF** に設定してください。	74
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	35
		フラッシュの設定が（発光禁止）になっていませんか？	フラッシュを以外に設定してください。	34
	使いたいフラッシュ設定を選べません。	使いたいフラッシュ設定を選べない撮影モードになっていませんか？	撮影モードを変更してください。	39
		マナーモードに設定されていませんか？	マナーモードを解除してください。	35
	フラッシュが発光したのに撮影した画像が暗いです。	被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	116
		フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	25
撮影モード **オークション**について	撮影できません。	バッテリー残量が少なくなっていませんか？	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	14、16
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	—
		レンズに指などがかかっていませんか？	レンズに指がかからないようしてください。	25
		撮影時に AF フレーム（赤点灯）と **!AF** が表示されていませんでしたか？	しっかりとピントを合わせてから撮影してください。	26、31、76
		撮影時に が表示されていませんでしたか？	手ブレの可能性があります。フラッシュ撮影をするか、三脚を使用してください。	34
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター（長時間露光）撮影しませんでしたか？	CCD の特性によるもので、故障ではありません。	—
連写について	連写に設定したのに、1 コマしか撮れません。	**サイクル連写**、**エンドレス連写**に設定して、セルフタイマー撮影しませんでしたか？	サイクル連写、エンドレス連写は、セルフタイマーと併用すると、1 コマしか撮影されません。	36

■ 再生時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	Blog ブログ画像、撮影モード で撮影した画像または、**静止画ピクセル**を 03M にして撮影した画像ではありませんか？	Blog ブログ画像、撮影モード で撮影した画像や**静止画ピクセル**を 03M にして撮影した画像は、再生ズームができません。	45
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
	画像が表示されません。	**再生画像選択**で違うタイプの画像を選択していませんか？	**再生画像選択**で表示したい画像のタイプを選択してください。	78
動画・ボイスメモ再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	94
		撮影 / 録音中にマイクを手などでふさいでいませんでしたか？	撮影 / 録音時はマイクをふさがないでください。	50、86
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	53、87
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていませんか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行なったカメラをお使いください。	83
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマ NO. について	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源をオフにしないでバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカード を交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源がオンのままバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	92

困ったときは

■ 接続時

症 状		ここをチェック！	処 置	ページ
テレビとの接続について	テレビに画像、音声が出ません	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	54
		動画再生中に専用 A/V（音声 / 映像）ケーブルを接続しませんでしたか？	動画再生をいったん停止させてから接続し直してください。	53、54
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「ビデオ」にしてください。	—
		セットアップメニューの**ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	91
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	—
	テレビの画像が黒白になってしまいました。	セットアップメニューの**ビデオ出力**が **PAL** になっていませんか？	日本国内で使用する場合は **NTSC** にしてください。	91
パソコンとの接続について	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	61
プリンターとの接続について	接続したのにプリントできません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	63
		プリンターの電源は入っていますか？	プリンターの電源を入れてください。	—
	1 枚ずつしかプリントされません。	PictBridge 対応のプリンターでプリントしていますか？	プリンターの仕様やプリントサービスによっては、各画像を1枚ずつしかプリントできないことがあります。また、日付が入らないことがあります。	—
	日時が印字されません。			

■ その他

症 状		ここをチェック!	処 置	ページ
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。	16
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。	14、16
	カメラが正常に作動しなくなってしまいました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	16、123
	電源が落ちてしまいました。	メモリーカードの抜き差しをしませんでしたか?	メモリーカードを入れてバッテリーカバーを閉じてから、電源を入れてください。	16
音について	音が出ません。	マナーモードに設定されていませんか?	マナーモードを解除してください。	35

警告表示

液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処 置
(赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
(赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態です。	フラッシュ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚のご使用をおすすめします。
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	• AF/AE ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください (→ 31 ページ)。 • 暗い場合は被写体から 2m 程度離れて撮影してください。 • 近距離撮影の場合は、マクロを設定してください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。
フォーカスエラー	カメラが誤作動または故障しています。	• 電源を入れ直してください。 • 電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
ズームエラー		
カードがありません	メモリーカードが入っていない状態で再生メニューの**画像コピー**を選びました。	カメラにメモリーカードを入れてください。
フォーマットされていません	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください (→ 94 ページ)。
	メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります(→94 ページ)。それでも警告表示が消えない場合は メモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処 置
カードエラー	メモリーカードがカメラでフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 94 ページ）。
	メモリーカードの接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→ 94 ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	メモリーカードが壊れています。	
空き容量がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに空き容量がないため、画像を記録 / コピーできません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
空き容量がありません		
メモリーがいっぱいです カードを入れてください		
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン / オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードまたは内蔵メモリーがフォーマットされていません。	メモリーカードまたは内蔵メモリーをカメラでフォーマットしてください（→ 94 ページ）。
プロテクトされたカードです	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。	SD メモリーカードの書き込み禁止スイッチを元に戻し、誤記録防止のロックを外してください（→ 20 ページ）。
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください（→ 94 ページ）。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、セットアップメニューの **コマ NO.** を**新規**に設定します。撮影すると、コマ NO. が「100-0001」から付けられます。**コマ NO.** を**連番**に戻すと、引き続き撮影できます。

警告表示	警告内容	処 置
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとしました。もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとしました。	このファイルは再生できません。
再生できません	メモリーカード の接触面（金色の部分）が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります（→94ページ）。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
再生できません	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
枚数制限をこえています	5000 枚以上の画像を日付再生しようとしました。	5000 枚以上の画像は日付再生できません。
プロテクトされています	• プロテクトされているファイルを消去しようとした。 • プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとした。 • プロテクトされているファイルを回転しようとした。	• プロテクトしたファイルは消去 / 回転できません。プロテクトを解除してください（→ 83 ページ）。 • プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください（→ 83 ページ）。
ボイス再生できません	ボイスメモファイルに異常があります。	ボイスメモを再生できません。
ボイス再生できません	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
画像がありません	メモリーカードまたは内蔵メモリーに画像がないときに、メモリーカードまたは内蔵メモリーへ画像をコピーしようとしました。	コピーする画像がないため、画像をコピーすることはできません。
トリミングできません	0.3M の画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
トリミングできません	ブログモードで保存した画像をトリミングしようとしました。	これらの画像はトリミングできません。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。

警告表示	警告内容	処 置
設定できません **設定できません**	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	—
回転できません **回転できません**	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	—
実行できません **実行できません** **実行できません**	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を、ブログモードで保存しようとしました。	—
実行できません	ブログモードで保存した画像を再度保存しようとしました。	ブログモードで保存した画像を再度保存することはできません。
実行できません	バッテリー残量が少ないときに、**オークション**で撮影しようとしました。	充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。
実行できません	パソコンまたは他のカメラで加工したり名前を変更したつなぎ撮り動画の続きを撮影しようとしました。	パソコンや他のカメラで加工したり名前を変更したつなぎ撮り動画の続きを撮影することはできません。
DISP を長押しして **マナーモードを** **解除してください**	マナーモード中にフラッシュや音量を設定しようとしました。	マナーモード時は、フラッシュや音量は設定できません。フラッシュや音量を設定したい場合は、マナーモードを解除してください。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができませんでした。	• パソコンまたはプリンターの電源が入っているか確認してください。 • パソコンまたは USB ケーブルの接続を確認してください。
プリンターエラー	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	• プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 • プリンターの電源をいったん切ってから、再び入れてください。 • お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー **再開しますか?**	用紙またはインクが切れているか、その他のプリンターエラーが発生しています。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は **MENU/OK** ボタンを押して、プリントを再開してください。

警告表示	警告内容	処 置
プリントできません	他のカメラで撮影した画像またはプリンターが画像フォーマットに対応していない画像をプリントしようとしました。	• お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターが JFIF-JPEG、Exif-JPEG 形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？ このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	他のカメラで撮影した画像（🎁）または動画をプリントしようとしました。	• 動画はプリントできません。 • このカメラで撮影したデータですか？このカメラで撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。

資料集

用語の解説

DPOF (ディーポフ): Digital Print Order Format の略。デジタルカメラで撮影した画像の中からプリントしたいコマや枚数などの「プリント予約」情報を、内蔵メモリーまたはメモリーカードに記録するフォーマットです。

EV：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムや CCD などの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することにより CCD に与える光量を一定にしています。CCD に与えられる光量が 2 倍になると EV 値は+ 1、半分になると EV 値は− 1 変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFF や JPEG との互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCF が JEITA 規格になっています。

JPEG：Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

WAVE (ウェイブ): 音声を保存するための Windows における標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。パソコンでは下記のソフトで再生できます。
- **Windows**：Windows Media Player
- **Macintosh**：QuickTime Player（QuickTime3.0 以降）

スミア：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写る CCD 特有の現象。

デジタルズーム：レンズを動かすことで、被写体を拡大して撮影する光学ズームとは異なり、カメラの内部処理で被写体を大きく見せて撮影する機能です。光学ズームと併用すると、より大きく撮影することができますが、撮影された画像の画質は劣化します。

ホワイトバランス：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

メモリーカード、内蔵メモリーの標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数及び撮影時間の枚数は目安です。実際の撮影枚数及び撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

		静止画ピクセル							動画ピクセル	
		10M F	10M N	9M 3:2	5M	3M	2M	03M	640 (30フレーム/秒)	320 (30フレーム/秒)
記録画素数		3648×2736 (約998万)		3648×2432 (約887万)	2592×1944 (約504万)	2048×1536 (約315万)	1600×1200 (約192万)	640×480 (約31万)	640×480	320×240
画像一枚のファイルサイズ		4.9MB	2.5MB	2.2MB	1.2MB	780KB	630KB	130KB	32KB	20KB
内蔵メモリー (約50MB)		10	20	23	40	62	78	321	56秒	1分29秒
SDメモリーカード	512MB	100	190	220	380	600	750	3,090	9分	14分
	1GB	200	390	440	770	1,210	1,510	6,190	18分	28分
	2GB	400	790	900	1,550	2,390	2,960	12,430	35分	57分
SDHCメモリーカード	4GB	800	1,590	1,790	3,100	4,770	5,900	24,820	71分*	114分*
	8GB	1,610	3,190	3,600	6,220	9,570	11,850	49,800	143分*	230分*

- 動画を連続して記録する場合、約2GBで自動的に撮影停止します。停止後に続けて撮影したい場合は、再度シャッターボタンを押してください。記録可能時間表示は約2GBで計算されます。

HTML カラーコード表

HTML コード	色系統	HTML コード	色系統
FFFFFF	白色	EEEECC	薄緑色
F6F6F6	グレー	EDF5FC	水色
000000	黒色	F4EBE4	クリーム
FDF5D5	薄黄色	FFF4F4	ピンク

* 本機ブログモードで使用しているコードのみ表記しています。

主な仕様

システム	
型番	FinePix Z33WP
有効画素数	1000 万画素
撮像素子	1/2.3 型正方画素 CCD 原色フィルター採用
記録メディア	• 内蔵メモリー（約 50MB） • SD/SDHC メモリーカード（弊社推奨品）
記録方式	• **静止画**　DCF 準拠 圧縮：Exif Ver.2.2　JPEG 準拠 /DPOF 対応 • **動画**　DCF 準拠（AVI 形式 Motion JPEG） • **音声**　WAVE 形式、モノラル
記録画素数（ピクセル）	• 10M **F** 3648 × 2736　• 10M **N** 3648 × 2736　• 9M **3:2** 3648 × 2432　• 5M 2592 × 1944 • 3M 2048 × 1536　• 2M 1600 × 1200　• 03M 640 × 480
ファイルサイズ	別表に記載（→ 113 ページ）
レンズ	**名称**　フジノン光学式 3 倍ズームレンズ **焦点距離**　f=6.3mm ～ 18.9mm（35mm フィルム換算：約 35mm ～約 105mm 相当 / <9M **3:2**（3：2）> 約 40mm ～約 120mm 相当） **開放 F 値**　F3.7（広角）～ F4.2（望遠）
デジタルズーム	約 5.7 倍（光学 3 倍ズームと併用　最大約 17.1 倍）
絞り	［広角］F3.7 ～ F8.0（3 ステップ）/［望遠］F4.2 ～ F9.0（3 ステップ）
撮影可能範囲（レンズ先端面からの距離）	**標準**　：［広角］約 60cm ～∞、［望遠］約 60cm ～∞ **マクロ**：［広角］約 8cm ～約 80cm、［望遠］約 60cm ～約 3.0m
撮影感度	AUTO、ISO 64/100/200/400/800/1600（標準出力感度）
測光方式	TTL256 分割測光
露出制御	プログラム AE
露出補正	－ 2EV ～ +2EV、1/3EV ステップ（M、時）
シーンポジション	（高感度 2 枚撮り）、（ナチュラルフォト）、（水中）、（オークション）、（人物）、（風景）、（スポーツ）、（夜景）、（夜景（三脚））、（夕焼け）、（スノー）、（ビーチ）、（美術館）、（パーティー）、（花の接写）、TEXT（文字の撮影）、（つなぎ撮り）
ブレ軽減モード	あり
顔キレイナビ（顔検出機能）	あり

資料

システム	
シャッタースピード	1/4 秒〜 1/1000 秒（📷 モード）、3 秒〜 1/1000 秒（全モード合わせて） メカニカルシャッター併用
連写	**連写**　連写速度：約 0.6 コマ / 秒、最大 3 コマ **サイクル連写**　連写速度：約 0.6 コマ / 秒、シャッターボタンを放した直前の 3 コマまで **エンドレス連写**　連写速度：約 0.3 コマ / 秒（内蔵メモリーまたは記録メディア容量までの連続撮影）
フォーカス	**・モード**　シングル AF　**・AF 方式**　TTL コントラスト AF **・AF フレーム選択**　センター固定 / オートエリア
ホワイトバランス	シーン自動認識オート / プリセット（晴天 / 日陰 / 昼光色蛍光灯 / 昼白色蛍光灯 / 白色蛍光灯 / 電球）
セルフタイマー	恋するタイマー / みんなでタイマー / 約 10 秒 / 約 2 秒
フラッシュ	**方式**　CCD 調光によるオートフラッシュ **撮影可能範囲（感度：AUTO 時）**　広角：約 70cm 〜約 3.9m、望遠：約 70cm 〜約 3.4m、マクロ：約 30cm 〜約 80cm
フラッシュ発光モード	**赤目補正 OFF 時**：オート / 強制発光 / 発光禁止 / スローシンクロ **赤目補正 ON 時**：赤目軽減オート / 赤目軽減 + 強制発光 / 発光禁止 / 赤目軽減+スローシンクロ
液晶モニター	2.7 型 低温ポリシリコン TFT カラー液晶 モニター約 23 万ドット（視野率 約 97%）
動画	640 × 480 ピクセル /320 × 240 ピクセル　30 フレーム / 秒、音声付き（モノラル）
撮影時機能	シーンぴったりナビ（自動シーン認識）、顔キレイナビ（顔検出機能）、赤目補正機能、クイックショット、フレーミングガイド（ベストフレーミング）、コマ NO. メモリー
再生時機能	顔キレイナビ機能（自動赤目補正機能付き）、マイクロサムネイル、ブログモード（画像加工）、トリミング（静止画 / 動画）、スライドショー、表示効果、マルチ再生、日付再生、画像回転、ボイスメモ、再生画像選択
その他の機能	PictBridge 対応、Exif Print 対応、PRINT Image Matching II 対応、言語設定（日本語、英語）、世界時計（時差設定）、ファインピックスカラー設定

入出力端子	
ビデオ出力	NTSC/PAL 方式（モノラル音声付き）
デジタル入出力	USB2.0 High-Speed、MTP/PTP 接続

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-45（付属）
バッテリー作動可能枚数の目安（フル充電時）	**電池の種類**　NP-45　**撮影枚数**　約 200 枚 CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格によるバッテリー寿命測定方法（抜粋）：バッテリーは付属のものを使用。記録メディアは SD メモリーカード を使用。液晶モニター ON、温度（23℃）、30 秒ごとに 1 回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2 回に 1 回フラッシュをフル発光、10 回に 1 回電源 OFF/ON して撮影。 **注意**：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数を保証するものではありません。低温時ではバッテリー作動可能枚数が少なくなります。
本体外形寸法	92.0mm × 59.6mm × 20.6mm（幅×高さ×奥行き）＊（突起部含まず）
本体質量	約 110g（付属バッテリー、メモリーカード含まず）
撮影時質量	約 126g（付属バッテリー、メモリーカード含む）
動作環境	**温度**　0℃〜＋ 40℃ **湿度**　10％ 〜 85％（結露しないこと）
防塵・防水規格	IP68（JIS 防水保護等級 8 級 /JIS 防塵保護等級 6 級）相当
水中規格	3 m 以内

バッテリー NP-45	
公称電圧	3.7V
公称容量	740mAh
使用温度	0℃〜＋ 40℃
本体外形寸法	31 mm × 39.4mm × 5.7mm （幅×高さ×厚み）
質量	約 15g

バッテリーチャージャー BC-45W	
定格入力	AC 100 V 〜 240 V　50/60 Hz
入力容量	8.0 VA (100 V)　12 VA (240 V)
定格出力	DC 4.2 V　550 mA
適合電池	FUJIFILM 充電式バッテリー NP-45
充電時間	約 110 分（+20℃において）
外形寸法	91 mm × 62mm × 23mm （長さ×幅×厚さ）
質量	約 67g（本体のみ）
使用周囲温度	0℃〜＋ 40℃

* 質量・外形寸法は仕向け国によって異なります。

バッテリーチャージャーについてのご注意

- バッテリーやバッテリーチャージャーは、内部で電力を消費するため温かくなりますが異常ではありません。できるだけ通気の良いところで使用してください。
- ご使用中、内部で発信音がする場合がありますが、故障ではありません。
- 充電中のバッテリーチャージャーにラジオを近づけると、放送に雑音が入ることがあります。その場合は、バッテリーチャージャーをラジオから離してご使用ください。
- 次のような場所には、置かないでください。
  暖房器具の近くや直射日光の当たるところなど、温度の高いところ / 湿気の多いところ / ほこりの多いところ / 振動の激しいところ
- 海外旅行でも使用可能な、入力 AC100V ～ 240V、50/60Hz 仕様です。ただし、電源コンセントの形状は、各国、各地で異なりますので国に合ったコンセント変換プラグが必要です。詳しくは、旅行代理店にご相談ください。

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01% 以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
- 電波干渉が強い場所（磁場、静電気、回線ノイズなど）では、カメラが誤動作することがあります。
- レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

索引

ソフトウェアのお問い合わせについて

1 **お問い合わせの前にお確かめください。**

ソフトウェアのインストール、FinePixViewer の使い方は使用説明書（本書）やFinePixViewer のヘルプから調べることができます。

2 **富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせ**

(http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/index.html)、またはインターネットメニューの「サポート登録変更」から、ホームページで調べてください。

＊「 サポート」をご利用いただくには画像ネットサービスへのユーザー登録が必要です。

3 **巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。**

より早く正確な回答のために、122 ページのご質問用紙をプリントアウトし、記入事項をご記入の上、下記の情報もご用意ください。

・カメラの機種名
・FinePixViewer のバージョンまたは CD-ROM のタイトル
・エラーメッセージ
・どのようなときにトラブルが発生しますか？ / トラブルが発生する直前の操作は？ / カメラの状態は？ / トラブルが発生する頻度は？

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。

・あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ ご質問用紙

FAXでのお問い合わせは、この「ご質問用紙」をプリントアウトして、質問事項および使用環境を詳しくお書きください。
ボールペン、サインペンで楷書にてお書きください。

フリガナ お名前			
ご住所	〒　　　　－		
電話番号	（　　　）　　　－	ファクス番号	（　　　）　　　－
E-mail			
ご記入日	年　　　月　　　日		
カメラの機種名			
FinePixViewerのバージョン またはCD-ROMのタイトル			
コンピュータ機種名		OSバージョン	
メモリ容量	MB	ハードディスク容量	GB
接続機器名		その他	
エラーメッセージなど			
ご質問内容			

資料

アフターサービスについて

保証書

・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。

・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をプリントアウトしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。

・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。

・落下･衝撃 、砂･泥かぶり 、冠水･浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。

・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。 大切なファイルは別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。 内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後８年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。

・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所･氏名･電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難･漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

● FinePix クイックリペアサービス

「お預かり」・「梱包」・「修理」・「お届け」をワンパックにした、お預かりからお届けまでが最短 3 日の宅配修理サービスです。

- 申し込みは、以下から選択してください。

  【クイックリペアサービス申し込み先】

  インターネット ：
  http://repairIt.fujifilm.co.jp/quick/index.php
  ナビダイヤル：0570-00-9555
  ※受付時間：月〜土 9:00 〜 17:00（日・祝日・年末年始を除く）
  ※ PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、「0228-35-3586」に電話してください。
  ファクス：0570-06-0070
  申し込みに際し、123 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
- 当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了品をご自宅までお届けします。
- 保証期間内外を問わず、全国一律のサービス料金が必要です。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

● FinePix 特急 30 分修理（持込修理）

サービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象とした、30 分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

- 故障の内容によっては対応できない場合があります。

- 下記サービスステーションにて FinePix 特急 30 分修理を実施しております。

東京 大阪 名古屋 札幌 福岡	当社ホームページ http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html をご覧ください。 ※仙台サービスステーションでは FinePix 特急 30 分修理は実施しておりません。

- その場で修理を行うことができます。後日引き取りもできます。
- 特急修理のために特別なサービス料金は不要です。
  ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。
- 修理料金は、お引取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

- ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
- 修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買上げ店への持込修理

- 修理料金及びその支払方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

■ 修理に関する情報は

・修理サービス Q&A
http://repairlt.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html
修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

・修理納期検索サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp
東京もしくは大阪のサービスステーションおよび富士フイルム修理サービスセンターへ修理依頼品を送付、あるいは持ち込みされた場合、修理完了予定日を検索することができます。

・FinePix 修理概算見積サービス
http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php
当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を算出できます。

FinePix Z33WP 修理依頼票

※予め123ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本ページはプリントアウトしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

<table>
<tr><td colspan="2">フリガナ</td><td></td><td rowspan="2">電話番号</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">お 名 前</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>FAX番号</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　　　－</td></tr>
<tr><td colspan="2">ボディ番号（機番）
保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。
修理お問合せ時にご連絡ください。</td><td colspan="3">NO.</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理品への添付</td><td colspan="3">□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー</td></tr>
<tr><td colspan="5">□（　　　　）　□（　　　　）
□（　　　　）　□（　　　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">見 積</td><td colspan="3">□要（修理金額　　　　円以上見積り）　・　□不要</td></tr>
<tr><td colspan="2">見積連絡方法</td><td colspan="3">□電話　・　□ＦＡＸ</td></tr>
<tr><td colspan="2">故障症状（故障時の様子）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">ご購入時期</td><td colspan="3">20　　年　　月</td></tr>
<tr><td colspan="2">修理履歴</td><td colspan="3">□初回　・　□再依頼 （□同一症状　・　□別症状）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">発生状況</td><td>発生頻度</td><td colspan="3">□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　　日に　　回）</td></tr>
<tr><td>動作モード</td><td colspan="3">□再生時　・　□撮影時　・　□ショックを与えると</td></tr>
<tr><td>他機との接続</td><td colspan="3">□無　・　□有（接続機　　　　）</td></tr>
<tr><td>使用電源</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

資料

富士フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

※予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-1060** / 携帯電話・PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-1088**

市内通話料金でご利用いただけます
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-7555** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/　※弊社ホームページの自己解決に役立つ「Q＆A検索」もご利用ください。

●修理の受付は…

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター

ナビダイヤル **0570-00-0081** / PHS・IP電話・NTT以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

⇒呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070** 受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　富士フイルム修理サービスセンター
〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL：0228-35-3586

▶ お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が最短3日の宅配修理サービス
インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php / ナビダイヤル：0570-00-9555

■修理品お持込窓口　全国６箇所のサービスステーション（東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡）でも修理をお受けします。
サービスステーションにつきましては、当社ホームページhttp://fujifilm.jp/をご確認ください。

▶ お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

- 故障の内容によっては対応できない場合があります。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…
お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日 午前9：30～午後5：00） TEL 03-5786-1712